

官報

號外 昭和九年二月七日

○第六十五回帝國議會貴族院議事速記録第十二號

昭和九年二月六日(火曜日)午前十時十七分開議

議事日程 第十三號

昭和九年二月六日 午前十時開議

第一 國務大臣ノ演說ニ關スル件(第十日)

第二 非訟事件手續法中改正法律案

(政府提出) 第一讀會

○副議長(伯爵松平賴壽君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程ノ變更ニ付キ御諮リヲ致シマス、議事ノ都合上日程第二ヲ第一ノ前ニ繰上ゲタイト存ジマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト看做シマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 議事日程第二、非訟事件手續法中改正法律案、政府提出、第一讀會、小山司法大臣

非訟事件手續法中改正法律案

勅旨ヲ奉ジ帝國議會ニ提出ス

右

官報號外 昭和九年二月七日 貴族院議事速記録第十二號 會議 日程變更ノ件 非訟事件手續法中改正法律案 第一讀會

昭和九年二月三日

內閣總理大臣 子爵齋藤 實

司法大臣 小山 松吉

非訟事件手續法中改正法律案

非訟事件手續法中左ノ通改正ス

第二百六條中「第五百三十六條」ヲ削リ

「第八十七條」ノ下ニ「及ヒ小切手法第七十一條」ヲ加フ

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

小切手法第六十五條ノ規定ニ依リ商法第五百三十六條ノ規定ヲ適用スベキ場合ニ付テハ從前ノ規定ハ仍其ノ效力ヲ有ス

〔國務大臣小山松吉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(小山松吉君) 只今議題ト相成リマシタ非訟事件手續法中改正法律案ニ付テ御説明申上ゲマス、曩ニ第六十四回帝國議會ノ協賛ヲ經テ、公布セラレテ居リマシタ小切手法ガ、本年一月一日ヨリ施行ノ運ビニ相成リマシタニ付キマシテ、小切手法第七十一條ニ規定シテ居リマスル小切手ノ振出人ニ對スル過料ノ制裁ニ付キマシテ、其裁判手續ヲ規定スル必要ガアリマスノデ、茲ニ本案ヲ提出イタシマシタ次第デア

リマス、尙ホ詳細ハ何レ特別委員會ニ於テ御説明申上グル機會ガアルト存ジマス、何卒慎重御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 本案ハ裁判所構成法中改正法律案ノ特別委員ニ付託イタシマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 國務大臣ノ演說ニ關スル質問ニ移リマス、拓務大臣ヨリ發言ノ要求ガアリマシタ、永井拓務大臣

〔國務大臣永井柳太郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(永井柳太郎君) 昨日關サンニ御答ヘ申上ゲマシタ事ノ中ニ、訂正シテ置キタイ點ガゴザイマスノデ、其事ヲ申上ゲタイト存ジマス、昨日本會議ニ於キマシテ、南洋興發會社ノ南滿製糖會社ノ機械購入ノ點ハ、話ガ纏マラナカッタヤウニ御答ヘ申上ゲタノデアリマスガ、其後取調ベマシタ結果南洋興發會社ハ、南滿製糖會社ノ遼陽ニ於ケル製糖機械ヲ買入レル契約ヲ締結シタサウデゴザイマス、南洋興發會社ハ、南洋「ロタ」島ニ於キマシテ、製糖工場ヲ設ケルコトニナリマシタガ、其機械類ハ鐵物ノ價格騰貴シテ居リマスル折柄、出來ルダケ中古デ適當ナモノヲ購入シタイト云フ方針デ、新潟製糖、名古屋製糖、東京製糖、南滿製糖等ノ各工場ノ運轉中止中ノモノニ付キマシテ、色々機械ヲ取調ベタノデアリマス、其取調ベマシタ結果、南滿製糖ノ機械ガ比較的優秀デ、且ツ値段モ割安デアルト云フノデ買入レルコトニ致シタノデゴザイ

マス、デ此度買入レルコトニ致シマシタ機械ハ、新ニ購入イタシマスルト百四十二萬圓以上ニ達スルモノデアリマスガ、ソレヲ五十萬圓デ買入レルコトニナッタノデゴザイマス、之ニ付キマシテハ技術員二名、事務員一名ヲ現地ニ派遣イタシマシテ十分ノ調査ヲシ、評價ヲ致シタ結果ニ依ッテ買入レルコトニナッタノデゴザイマス、デ此點ヲ補足説明イタシテ置キタイト存ジマス

○關直彦君 其點ニ付キマシテ、チョウト一言申上ゲタイノデアリマスガ……

○副議長(伯爵松平賴壽君) 宜シウゴザイマス

〔關直彦君演壇ニ登ル〕

○關直彦君 只今拓務大臣ヨリ、昨日ノ御答辯ニ付テ御訂正ガアリマシタ、感謝イタス次第デアリマス、就キマシテハ私共ノ聞ク所ニ依リマスルト、今回買入レラレマシタル機械ハ、長ク休ンデ居リマシテ非常ニ其錆ノ附イタ機械ダサウデアリマス、聞ク所ニ依リマスルト云フト其值ハ、普通デ我ガ買ヒマスレバ二三萬圓位ノ值シカナイト云フコトニ聞イテ居リマス、五十萬圓デ其機械ヲ……古機械ヲ買入レルト云フコトニ付キマシテハ、當局ニ於テ其値段ガ正當ト御認メニナリマセウカ如何、成程技師ヲ派遣セラレタカモ知レマセヌガ、當局トシテ派遣サレタノデハナカラウト思ヒマス、會社ガ派遣シテ、サウシテ相對デ其値段ヲ決メタノデアリマセウカラ、五十萬圓デ買入レタト云フコトハ、當局ニ於テモ之ヲ正當

ト御認メニナルノデアリマセウカ、尙ホ其點ヲ一應伺ヒタイノデアリマス、而シテ私モ亦昨日ノ演說ニ付キマシテ、多少訂正イタシタイノデアリマス、ソレハ興發會社ノ新株ヲ二萬五千株、東拓會社ヨリ「プレミアム」附ノモノヲ、無償デ久原系ノ日本産業株式會社ニ提供シタト云フコトヲ申シマシタガ、ソレニ對シテサウ云フ事實ハナイト云フ御答辯デアリマシタ、其點ハ間違、テ居リマシタ、ト申スノハ外デハアリマセスガ、東拓ノ持株デハナイサウデアリマス、ソレハ興發會社ガ興發會社ノ持株デアッテ、募集ニ應ゼシムル爲ニ持テ居、タモノヲデス、之ヲ此中ノ二萬五千株ヲ東拓ノ幹旋ニ依、テ……或有力者カラ東拓會社ニ幹旋シ、東拓會社ガソレニ依、テ興發會社ニ幹旋シテ、其新株ヲ日產會社ニ提供シタト云フコトデアリマス、其點ダケヲ私ガ訂正イタシマスルガ、併シ意味ニ於テハ同ジコトデアリマス、周旋シタ人モ同ジ者デアル、口ヲ利キマシタル、東拓ノ總裁ノ口利キニ依、テ出來タト云フコトモ其通デアリマスルシ、意味ニ於キマシテハ十二圓以上ノ「プレミアム」ノ附イタモノヲ二萬五千株、只デ之ヲ日產會社ニ提供シタト云フコトガ、甚ダ不都合デヤナイカト云フコトヲ申シタノデアリマスルカラ、意味ニ於テハ少シモ變リマセス、事實ニ於テ多少ノ相違ガアリマシタカラ、此點ハ私モ謹ンデ訂正ヲ申上、ゲマス

〔國務大臣永井柳太郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(永井柳太郎君) 南洋興發ガ南

滿製糖ノ機械、製糖機械一切ヲ五十萬圓デ買入レタコトガ、不當デアアルデハナイカト云フ御話デゴザイマシタガ、ソレハドウ云フ理由カ能ク存ジマセスケレドモガ、御承知ノ通りニ、南洋興發ハ東拓ノ子會社ノヤウニナ、テ居ルノデアリマシテ、拓務省ハ直接ノ監督ハ致シマセスケレドモ、東拓ニ對シマシテハ一切ノ必要ナル書類ヲ提供シテ居ルノデゴザイマス、其書類モ取寄セテ見マシタガ、其技術員ガ調査ヲシ評價ヲ致シマシタ細目ガ出テ居リマシテ、ソレニ依リマシテ東拓ニ於キマシテモ、新シク購入スレバ百四十二萬圓以上ノモノデアアルガ、ソレヲ五十萬圓デ買ヒ得タコトハ正當ダト認メルト云フコトヲ申シテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ南洋興發ハ御承知ト思ヒマスガ、從來非常ニ眞面目ニ經營シテ居リマシテ、成績ハ非常ニ顯著デゴザイマス、ソレガ爲ニ南洋興發ノ株價モ相當ナ價值ヲ示スヤウニナ、テ參リマシタノデ、實ハ東拓ガ糞ニ整理ノ際ニ南洋興發ノ株ヲ賣リマシタノモ、南洋興發ノ株ガ特別ナ價值ヲ有、テ居リマシテ、其整理ニ非常ニ有利デアルト云フコトガ其理由ノ一ツデゴザイマシテ、今迄ハ餘程眞面目ニ成績ヲ擧ゲテ居ル會社デゴザイマス、其點ニ於キマシテ私共ハ別ニ不當ト認ムベキモノガナイト存ジマスケレドモ、關サンガ二三萬圓デ買ヘルモノヲ五十萬圓デ買、タト御言ヒニナリマスルニハ、相當ナ御理由モアルコトト思ヒマスガ、ドウ云フヤウナ御評價デサウ云フ價值ニナリマスガ、

ソレ等ノ點ヲ示シテ載キマスレバ、大變調査ヲスル上ニ參考ニナルト存ズルノデゴザイマス

○關直彦君 簡單デゴザイマスカラ此席カラ申シマス、宜シウゴザイマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 宜シウゴザイマス

○關直彦君 成程南洋興發ハ誠ニ堅實ナル、優良ナル會社ト云フコトハ私モ承知ヲ致シテ居リマス、併ナガラ若シ今問題ニナリマシタヤウナ、錆ビタ機械ヲ五十萬圓デ買入レタト云フコトガ、若シ風説ノ如ク二三萬圓カ四五萬圓ノ價シカナイモノヲ、五十萬圓デ買入レタト云フコトニナリマスルト、ソレガ爲ニ親會社ノ信用ヲ害スルヤウナコトガアリハシナイカ、若シ信用ヲ害スルヤウナコトガアリマシテ、其影響ガ東拓ニモ及ビ、國庫ニモ及ブト云フコトニナリマス、甚ダ遺憾千萬デアリマス、私ハ其機械ヲ見タコトハアリマセヌカラ、果シテ是ガ二三萬圓ノモノデアアルカ、四五萬圓ノモノデアアルカソレハ存ジマセス、存ジマセスガ尙ホ此點ニ於キマシテハ、唯其會社ノ報告ノミニ重キヲ置カレナイデ、拓務省トシテ別個ニ能ク御調査アラムコトヲ希望イタシマシテ、只今ノ御答ニ對シテ感謝ノ意ヲ表スル次第デアリマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 通告順ニ依リマシテ大河内子爵ニ發言ヲ御許シ致シマス

○子爵大河内輝耕君 我ハ最初ニ外務大臣

ニ御尋ヲ致シタイノデスガ、實ハ其問題ハ近頃ノ社會不安ニ關スルコトデゴザイマシテ、此事ハモウ二荒君カラ十分ニ御尋モアリ、殊ニ我ミノ最モ喜ブ所ハ外交界ノ權威トシテ、何レハ外交ノ衝ニ當ラレルト思ハレル芳澤前外務大臣カラ裏書キモアリ、世間ニ此事ハ徹底シタト思ヒマスガ、併シ質問ノ順序上今一應私カラ御尋ネ致シタイト思フ、甚ダ恐縮デゴザイマスガ暫ク、若シ御差支ガナイ限りニ於テ、簡單デ宜シウゴザイマスカラ御答ヲ願ヘバ宜シイ、申上ガル迄モナク世間ニハ戰爭ガアルト云フコトデ非常ナ不安ガアッタ、近頃マデ其思想ハ隨分強ク行ハレテ居リマシタ、是ハ先達デ以來ノ御説明デ大概分、テ居リマスケレドモ、尙ホ之ニ付テ未ダ多少言ヒ漏シノコトデモアレバ、此際外務大臣カラ伺、テ置キタイト思フ、マア何モソレヲ問題トシテ申上、ゲル譯デハゴザイマセヌガ、例ヘバ露西亞トノ交渉ニシテモ、前回御説明ノ時分カラハ或ハ多少進ンデ居ルヤウナコトモアリマセウシ、殊ニ支那トノ關係ナドニ付キマシテハ、前回御説明ハゴザイマシタケレドモ、尙ホ我ミ色ミ調ベタ所ニ依リマスルト、支那トノ關係ハ漸々良クナ、テ來ル、殊ニ杉村公使ナドノ御意見ニ依リマスルト、アチラノ要人トコチラノ要人ト話合デモシタナラバ、圓滿ニ解決シテ了ウダラウト云フヤウナ御意見モ出テ、決シテサウシロト申ス譯デハアリマセヌ、ソレハマア外務大臣ノ御意見デ、ヤルトヤラナイハ御自由デアリマスガ、サウ云

フ意見スラ出テ居ル、殊ニ又貿易上カラ申シマシテモ、日支ノ間ノ親善ト云フコトハ是ハ自然ノ潮流デアリマシテ、現ニ上海アタリノ貿易商人モ日本品ヲ扱テ居ル者ハ、此「ボーイコット」ノ爲ニ倒産ラシテ居ル者モ澤山アルト云フヤウナ状態デ、自然ノ潮流ト云フモノハ、決シテ排日ナドト云フモノハナイコトト認メテ宜カラウト思ヒマス、他ニ色々ノ點モゴザイマセウガ、又先日ソレニ付テ御言ヒ漏シノ點デモゴザイマシタナラバ、此際伺テ置キタイト思ヒマス、ソレカラ外務大臣ガ濟ミマシテカラ、他ノ各大臣ニ對シテ更ニ御質問ヲ申上ゲマス

〔國務大臣廣田弘毅君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(廣田弘毅君) 只今大河内子爵カラ、戰爭ニ付テノ御心配ノ點ヲ御質問ニナタノデアリマスガ、元來此戰爭ト云フコトガ人類社會ニ於テ非常ナ災害デアルト云フコトハ、是ハ人類一般ノ考ヘテ居ル所デゴザイマス、其戰爭ガ萬已ムヲ得ザル場合ニ起リマシタト致シマシテモ、是ガ敵味方雙方ニ非常ナ災難ヲ及ボスモノデアルト云フコトハ、人類過去ノ永イ間ノ歴史ノ經驗デ明カナル所デアリマス、殊ニ日本ト致シマシテハ過去三四十ノ年ノ間ニ、二三回ノ戰爭ヲ避ケルコトヲ得ナカッタ時代ガ參タノデアリマスガ、サウ云フ時ノ日本ノ狀況ヲ見マシテモ、何時デモ此日本國民全般ガ國家ノ安危、國家ノ存亡ト云フコトニ付テ非常ナ心配ヲ致シマシテ、是ハ萬已ムヲ得ナイカラ起タナケレバナラスト云フ時ニ、詰

リ日本國ノ防禦感ノ最高潮ニ達シタ時ニ、初メテ日本ハ干戈ヲ執テ起タノデアリマス、是ガ私ハ日本ノ國際關係ノ處理ヲ致シテ行キマス上ノ、日本國民ノ信念デアルト思テ居ルノデアリマス、サウ云フ考ヘデ今日、私ハ世界ノ時局ニ當テ行キタイ、萬已ムヲ得ヌケレバ致方ナイガ、日本國民ト云フ者ハ徒ニ戰爭ヲ好ム者デナイ、能ク日本ノ軍部ニ對シテ色々世界ニ於テ誤解モアルヤウデアリマスガ、決シテ私ハサウ云フコトハアリ得ナイモノダト確信イタシテ居ルノデアリマス、又露西亞トノ關係ニ於キマシテモ、色々私ハ此外務ノ位置ニ就任イタシマシテ以來、最モ苦心シテ居ル問題デアリマスケレドモ、決シテ私ハ之ニ付テ悲觀ハ致サナイノデアリマス、露西亞ノ今日ノ事情カラ見マシテモ、私ハ懸案解決ノ方針デ出テ來ルダラウト期待イタシテ居ルノデアリマス、現ニ進行中ノ東支鐵道ノ問題ノ交渉ニ付キマシテモ、殆ド毎日ノヤウニ實ハ交渉ヲ致シテ居リマスノデ、何トカ打開ノ途ガアルダラウト思テ居ル次第デアリマス、殊ニ最後ニ此支那ノ問題ニ付キマシテモ、是ハ日本ト致シマシテ今日、滿洲事件發生以來相當困難ナ問題モアルノデアリマスケレドモ、此日支兩國ノ關係ト云フモノハ我々日本人ト致シマシテハ、單ニ今日ノ一時的ノ關係デナクシテ、良カレ惡シカレ我々ノ子々孫々ニ至ル迄、此關係ハ好クシテ行カナケレバナラスト云フ、當然ノ運命ニ私ハアルモノト信ジテ居ルノデアリマス

ス、時ノ支那ノ政治家ノ態度、或ハ一般民衆ノ考デ、或ハ排日、或ハ抗日、又日本側カラ申シマシテモ支那ノ膺懲シロトカ、色々ナ聲ガ起タコトモアリマスケレドモ、是ハ私ハ一時ノ現象ニ過ギナイモノデアアル、永久ノ點カラ見マシタナラバ此日支兩國ト云フモノハ、ドウシテモ相親和シナケレバナラス運命ニアルモノト信ジテ居リマス、其根本ノ信念ニ依リマシテ、今日ノ支那ノ時局ニ當テ參リタイト思テ居ルノデアリマスカラ、支那ト日本トノ間ニ私共葛藤ガ起ルト云フヤウナコトハ、私ハ殆ド想像シ得ナイモノト思フノデアリマス、一言大河内子爵ノ御質問ニ對シテ御答ヘ致シマス

〔子爵大河内輝耕君演壇ニ登ル〕

○子爵大河内輝耕君 國際危機ニ付キマシテノ疑問ガ、此際一層晴カニナリマシタコトハ誠ニ御同慶ニ存ジマス、ソレデ之ヲ前提ト致シマシテ陸海軍大臣ニ御質問ヲ致シタイノデゴザイマスガ、兩大臣ニ於キマシテモ此點ハ定メシ御同意デアラウト思フ、外務大臣ニ於テハ外部カラ、國際關係カラ見テモ、或ハ日本政府ノ方針トシテ見テモ、少シモ戰爭ト云フコトハ憂フルコトハナイ、勿論之ニ付キマシテハ充實シタル軍備ハ必要デアリマス、緊張シタル精神ト云フコトモ是モ必要デアアル、又穩健ナル外交モ是ハ必要デアアル、是ハ又段々其コトニ付キマシテハ後ニ先輩カラモ御質問ガアラウト思ヒマスカラ、私ハ其コトハ省略シテ置キマスガ、是ハ無論必要ナコトデアリマス、無論必要

ナコトデアアリマスガ、併シサウ云フコトガ十分ニ行ハレレバ先ヅ戰爭ト云フモノハ、今起キルト云フヤウナコトハ到底考ヘラレナイト云フコトハ明カニナタラウト思ヒマスシ、又陸海軍大臣モ同ジヤウナ御見込デアラウト思ヒマス、ソレデ更ニ陸海軍大臣ニ伺テ見タイノハ、世間ニマダサウ云フヤウナ疑問ガ多少タリトモ殘テ居ルト云フコトハ、遺憾ナガラ事實デアリマス、殊ニ議會開會前ニハサウ云フヤウナ思想ハ非常ニ多カッタ、ソレハ決シテ軍部ガサウダト申ス譯デハナイ、ソレハ今ノ外務大臣ノ御説明デ能ク分リマシタケレドモ、併シ斯ウ云フコトハ陸海軍ノ大臣アタリカラ能ク一般國民ニ對シテ、又部下ノ御方ニ對シ、陸軍或ハ海軍ノ部内ノ御方ニ對シ、又ハ其外廓團體ニ對シテ、能ク徹底的ニ御説明下サルト云フコトハ非常ニ必要ナコトダラウト思フ、忌憚ナク申上ゲレバ、ドウモ其御努力ガ今マデ足リナカッタヤウニ思フ、モウ少シヤッテ戴キタイ、其コトニ付テハドウ云フ風ニ御考デゴザイマスガ、第一點ニ先ヅソレヲ伺ヒタイ、ソレカラ第二點ト致シマシテ、是モ社會不安ノ一ツデアリマスルガ、軍部ノ政黨政治否認トカ、或ハ政治ノ論議トカ云フヤウナ問題ガアル、是モ無論ソナコトハナイコトト思ヒマス、決シテアルベキコトデナイ、アルベキコトデナイガ、噂ガアッタコトハ事實ナンデアアル、ソレデ先日來色々衆議院等デモ議論ガアリマシテ私ハソレヲ承リマシタノデスガ、多少マ

ダ疑問ニサレテ居ルコトモアルヤウデアリマスカラ、此際之ヲ明カニシテ置キタイト思フ、勿論軍部ニ於キマシテハ何モ政治上ノ關係ニ限ル譯ハナイノデスカラ、政黨政治ガ良イトカ惡イトカ、何ガドウダトカ、サウ云フヤウナコトハ無論御考ニナッテ居ルコトデヤナイト思ヒマス、又軍人ノ政治ノ論議ナント云フコトモ問題ニナッテ居ル、是モデス、論議ト云フ意味ハハッキリト、速記録ヲ此處ニ持ッテ居リマセヌカラ申上デラレマセヌガ、例ヘバ論議ト云フ御言葉ガアッタニシタ所デ、其論議ト云フ意味ハ何モ外ニ對シテ宣傳ヲスルトカ何トカ云フ意味ノコトデナイ、部内デ軍事上ノコトニ付テノ研究ヲスルニ付テハ、矢張り政治ト云フコトモ研究ヲシナケレバナラス、御互ニ研究ヲスルノダ、此位ノ意味ニ私ハ解シタイ、傳ハリ方ニ依ッテハ隨分重大ナ結果ヲ生ジヤウト思ヒマスカラ、此際此點ヲ明カニシテ置キタイト存ジマス

〔國務大臣大角岑生君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(大角岑生君) 大河内子爵ノ御質問ニ御答ヘ致シマス、第一ニ戦争ニ關スル御尋デアリマシタガ、此日本帝國ノ存在ガ脅威セラレザル限り、自カラ進ンデ事ヲ構ヘルト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ル者ハ一人モナカラウト思ヒマス、併シ之ガ爲ニハ只今御述べニナリマシタ如ク、我ニ覺悟ト準備ガアリマスレバ、有ル危機モ避ケ得ラレルコトガアルデアラウト思ヒマス、故ヲ以テ此度モ軍備ニ關スル相當ノ豫算ヲ出シマ

シテ御協賛ヲ仰グ次第デアリマス、第二ニ御尋ニナリマシタノハ政黨ニ關スルコトデアリマスルガ、政黨政治ノ批判ニ關シテハ意見ヲ述ベルコトヲ差控ヘタイト思ヒマス、唯私ノ望ム所ハ憲法ノ條章ニ依リ、清正シキ政治ノ行ハレルコトデアリマス、第三ニ御尋ニナリマシタコトハ軍人ト政治ノ關係デアリマス、政治ニ關シ上書、建白其他諸願ヲ爲シ、又ハ演説若クハ文書ヲ以テ意見ヲ公ニスルコトハ、海軍刑法第四百條ニ依リ禁ゼラレテ居ルノデアリマシテ、現役軍人ガ域ヲ超エテ自ラ政治ニ干與セムトスルガ如キコトハ無イノデアリマス、萬一斯カルコトガアリマシタラバ、十分取締ルベキハ當然ノコトデアリマス、本來軍人ハ忠節ヲ盡スヲ本分ト致シマス、忠節ヲ盡スノ道ハ各自ノ本分ヲ通ジテ行ハルベキコトハ申ス迄モゴザイマセヌ、唯現代ノ政治ハ所謂國力戰デ、國ヲ擧ゲテ戰ハナケレバナラスノデアリマス、從テ戦争ノ勝敗ニ密接不可分ノ關係ヲ有ッテ居リマスル政治ニ付キマシテ、現役軍人ト雖モ必シモ無關心ナルコトハ出來ナイノデアリマシテ、或程度ノ研究ト之ニ關スル常識ノ涵養ニ心掛クル者ガアルノハ自然ノ勢ヒカト存ジマス、併シ特ニ現役軍人ハ御勅諭ノ聖旨ヲ奉戴シ、又官紀、軍紀ニ從ッテ行動セネバナラスノデアリマシテ、法規ノ外ニ出デ實際政治ニ立入ルコトヲ慎マナケレバナラヌコトハ、最初ニ申上ゲタ通りデアリマ

〔國務大臣林銑十郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(林銑十郎君) 只今ノ大河内子爵ノ御質疑ニ對シテ御答ヲ致シマス、第一ノ外交問題、其他政黨云々、又軍人ノ政治干與等ニ付キマシテ、只今外務大臣並ニ海軍大臣カラ答辯サレマシタコトハ、私ニ於キマシテモ全然同感デゴザイマシテ、此點ハモウ別ニ詳シク申上ゲル必要ハナイト考ヘマス、唯此國防ノ問題ニ付キマシテ、外務大臣ノ御趣旨ノ通り我々モ考ヘテ居リマシテ、其點ハ軍部ニ於テモ考慮ヒヲ有ッテ居ル者ハ無イト考ヘマス、唯軍部ハ責任上國防ヲ苟モスルコトハ出來ナイト云フ考カラ、外交工作ニ於テ十分平和ノ見込ガアリマシテモ、イザト云フ場合ニ於テ、軍部ガ其内容ノ充實シテ居ラヌト云フヤウナ爲ニ不覺ヲ取ッテハナラス、斯ウ云フ考ヲ持チマシテ、平素ニ於テモ其點ニ付テハ十分力説モシ、又研究モシテ居ル次第デアリマシテ、其軍部ノ充實ト云フコトト、ソレカラ戦争ヲ好ムト云フコトトハ全然別ノ問題デアリマシテ、是ハ部下等ニ於キマシテモ間違ヒノナイヤウニ心得サス考デゴザイマス、之ヲ以テ御答ト致シマス

○子爵大河内輝耕君 陸海軍大臣ニ對シマシテチヨット簡單ニ此席カラ……、宜シウゴザイマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 後ニマダ御質疑ガアルノデスカ

○子爵大河内輝耕君 陸海軍大臣ダケニ對シテ此席カラ……

○副議長(伯爵松平賴壽君) 宜シウゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 大變御深切ナ御答辯デ感謝イタシマス、國際關係ノ事ニ付キマシテハ、兩大臣トモ外務大臣ト御同意デアルト云フコトヲ拜聴シテ私モ大變喜ビマス、唯其部下ノ御方ヤナンカニモウ少シ宣傳ヲシテ戴キタイ、能ク納得ガ行クヤウナコトニシテ戴キタイ、ト云フノハ決シテ外ノ部下ノ方ヤナンカガ過ッテ居ルカラト申スノデハナイ、サウ云フヤウナ宣傳ヲモウ少シシテ戴キタイト云フコトナノデス、陸軍大臣カラ今御話モアリマシタガ、海軍大臣カラハチヨット其點ガハッキリ致シマセヌデシタ、併シ無論其宣傳、サウ云フ事ヲ納得ガ行クヤウニ努メラレ御趣旨ト思ヒマスカラ、サウ云フ風ニ解釋イタシテ置キマス、ソレカラ政黨政治ニ付キマシテハ、政黨政治ガ善イト思フカ、惡イト思フカ、陸海軍大臣ノ意見如何ト云フ趣旨デヤナイ、サウ云フコトニハ關係ナイモノデアアル、斯ウ云フコトニ付テハ何方ニナラウトモ無關心ノ態度デアルベキデアル、是ハ陸海軍大臣トハ申シマセヌガ、軍部トシテサウアルベキデアル、斯ウ云フ意味ナンドス、ガソレモ今ノ御答辯デ大概分ッテ居リマス、無關心デアルベキモノト云フヤウニ御理解下スッテ、御賛成下サツモノト思ヒマス、ソレデ宜シケレバ御答ニモ及ビマセヌシ、ソレ以上私モ御問ヒ致シマセヌ、左様心得テ宜シイモノデゴザイマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 大河内子爵ニ
申上デマスガ、内務大臣ガ出席サレテ居リ
マスカラ、御質問ガゴザイマスレバ御登壇
ヲ願ヒマス

(子爵大河内輝耕君演壇ニ登ル)

○子爵大河内輝耕君 私ハ是カラ社會不安
ノ問題ニ付キマシテ、内務大臣ニ御尋ネ致
シタイノデゴザイマス、内務大臣ニ御尋ネ
致スコトニ付キマシテハ、只今外務大臣並
ニ陸海軍大臣ニ對スル質問ヲ必要ト致シマ
シタノデ、三大臣ヲ煩ハシタ譯デゴザイマ
ス、社會不安ハ色ミナ關係カラ參リマセウ、
國際危機ト云フコトモゴザイマセウシ、經
濟關係モゴザイマセウ、色ミゴザイマセウ
ガ、其一ツトシテ私ガ舉ゲタイノハ今日ノ
言論拘束ノ問題デアリマス、今日ガ言論不
自由ノ世ノ中デアルト云フコトハ是ハ皆様
御認メト思ヒマス、内務大臣モ之ヲ御認メ
下サルコトト思フ、不自由ト云フタツテ絶對
ニ言ヘナイ譯デヤゴザイマセウガ、十分ナ
自由ハ得テ居ラナイ、譯ミシク實例ヲ申上
グル迄モナイ、モウ事實ダカラ如何トモ致
方ガナイ、ソレデ從テ衆議院ト云ハズ、貴
族院ト云ハズ、ドウモ十分此協賛ノ任ヲ果
スコトガ出來ナイ、十分ニ皆サンノ前ニ意
見ヲ開陳シテ、是レ、是レ、デアアル
カラ斯ウト云フ提案モ出來ナケレバ論議モ
出來ナイ、誠ニ是ハ困ツタ状態、世ノ中ニ能
ク政黨ト云フモノガ意氣地ナシダト云フコ
トヲ申ス、閑居休業ダト云フヤウナコトヲ
申ス、併ナガラ政黨ガ善イカ惡イカト云フ

コトハ別論ト致シマシテ、政黨カラ言論ノ
武器ヲ奪フテ何デ政黨ガ動ケルカ、今日ノヤ
ウニ政黨カラソククリ言論ノ武器ヲ奪フテ
了テ、物ヲ言ハセナイヤウニシテ了テハ、
十分ニト云フコトハ……到底十分ナコトハ
言ヘナイ、是ハ衆議院ノミナラズ貴族院ト
雖モ同ジナデス、ドウ云フ譯カ知リマセ
ヌガ、兎角獨裁政治ヲ主張スルヤウナ人達
ガ目ノ敵トスルノハ政黨ナデス、他ノ者
ハドウデモ宜インデス、政黨サヘ……獨裁
政治ヲヤルニハドウシタツテ政黨ヲ付ケ
ナクテハイカナイ、此事ハ當然ノコトダラ
ウト思ヒマス、外ノ勢力ハ何トデモ壓迫ハ
利ク、政黨ノ勢力ダケハ、壓迫ハ出來マセ
ウ、壓迫ハ出來マセウガ、獨裁政治家ノ壓
迫以外ノ方法ヲ以テ之ヲ撲滅スルコトハ出
來ナイ、一番モウヤツ付ケテシマハナケレバ
ナラナイノハ政黨ナデス、此間「メーソ
ン」博士ガ見エタ時ニ、華族會館デ我ミガ
御話ヲ伺ヒマシタ、其中ニモ切リニ其事ヲ
言ハレテ居ル、日本ト云フモノハ東洋ニ於
ケル唯一ノ創造的精神ヲ以テ立ッテ居ル國
デアアル、大和魂ノ真髓ハ創造的精神デア
アル、今度滿洲ヘ進出シタノモ、即チ此創造
的精神ヲ以テ他ヲ感化シヤウト云フ目的デ
日本ハ進出シタノデアラウ、ソレデ若シ日本
ガ創造的精神ヲ失フト云フヤウナコトデ
アリ、唯サウデスカト云フヤウナコトデ、
盲從バカリヤツテ居ルヤウナコトデハ、東洋
民族ノ創造的精神ト云フモノハ茲デ地ヲ
掃ッテ去ルモノデアアル、斯ウ云フコトヲ言ハ

レタ、ソレハ全ク其通りダト思ヒマス、又
政黨ニ付テモ議論ガアツタ、決シテ日本ノ政
黨ト云フモノハ外ノ國ノ政黨以上惡イモ
ノダトハ思ハヌ、斯ウ云フコトヲ言ハレ
タ、私ハ政黨ノ事情ニ通ジマセヌカラ、
其コトハ能ク存ジマセヌガ、理解アル最
モ同情アル又公平ナ立場ニ居ル研究者ノ
言トシテ、是ハ捨テルベキモノデハナ
カラウト思フ、尙ホ「メーソン」氏ハ其
際ニ言ハレルニハ、斯ウ云フ創造的精神ヲ
失フヤウナコトガアリマシテハ、將來是ハ
國內バカリデナク、國際關係ニモ重大ナ影
響ガアルト云フコトモ言ハレテ居ル、又一
面ニ於テ法律關係デ見テ見マスルト云フ
ト、此言論自由ニ付キマシテハ、隨分澤山
ノ法律ガ出テ居リマス、例ヘバ無論憲法ニ
於テハ其言論ヲ保障シテ居ル、治安警察法
其外ニ於キマシテモ、隨分其コトハ詳細ニ
規定シテアル、殊ニ治安警察法ナドハ議會
ノ言論ニ對シテハ、言論ヲ拘束シテ、サウシ
テ議會以外ニ責任ヲ負ハセルヤウナコトヲ
規定シタ、サウ云フ結社ヲ造ルト云フコト
ハイケナイト云フコト迄制限シテ、詰リ議
會ニ於テノ議員ノ言論並ニ行動ハ自由ニナ
ルベキコトト云フヤウニ法律ハナッテ居ル、
之ヲ今日ノ現狀カラ見ルト、相距ル千里ト
言ッテモ差支ナイ、其結果ドウナルカト云フ
ト、全然言論ガ拘束サレタト云フナラ宜ク
ハアリマセヌケレドモ、其狀態デモナイ、
一種ノ議論ハ、一種偏シタ議論ハ盛ニ行ハ
レテ居ル、誠ニ妙ナ議論バカリ行ハレル、

其議論ダツテ成ル程宜イ所ハアリマセウ、宜
イ所ハアリマセウケレドモ、其議論バカリ
行ハレテ居ラナデハ、是ハ國民ヲ誤ルコ
ト非常ナモノダト思フ、現ニ出版物等ノ發
行、記事差止ト云フヤウナコトモ隨分頻々
ニ行ハレテ居ル、實ハ此質問ヲ致サンガ爲
ニ、最初ハドウ云フ材料ガアルカト思ッテ、
材料ヲ蒐集シテ見タ、非常ニ少ナイダラウ
ト思ヒマシタ所ガ、私ノ豫想ニ反シテ非常
ニ材料ガ多クテ、連モ皆サンノ前デ之ヲ御
讀ミスルヤウナコトヲシタラ、一日モ三日モ
掛ッテ了ヒマス、非常ニ材料ガ多イ、是ハ極
ク著シイモノダケ拔キマシテチヨット申シ
マス、尙ホ内務大臣ニモ御斷リヲ致シテ
置キマスガ、茲デ色ミナ例ヲ舉ゲテ申シマ
スケレドモ、是ハ唯立論ノ順序トシテ申ス
ノデ、其例ニ付テ一々御答ヲ煩ス譯デモ何
デモアリマセヌ、唯例トシテ御聽キ放シ下
サレバソレデ宜シイ、一ツノ例トシテ斯ウ
云フノガアリマス、「昭和八年五月四日警視
廳檢閱係」、日刊新聞ノ通信發行人ニ宛テ
居リマス、「新聞紙掲載事項ニ關スル件、別
紙事項ヲ新聞紙ニ掲載シタルトキハ場合ニ
依リ禁止處分ニ付セラル、コトアル趣キニ
付キ御諒知相成リ度シ」斯ウ書イテアル、
「記」トシテ事項ガ書イテアル、事項ハ差止
ラレタヤウナ事項ナデスカラ、申上ゲナ
イ方ガ宜シイ、唯申セバ是ハ密輸入ヲシタ
ト云フコトデアリマス、ソレダケノコトデ
アル、是ハ何デモ密輸入ト云フコトハ體面
ニ關スルト云フコトデ、斯ウ云フコトニナ

タ、成ル程ソレハヤカマシク言ヘバサウカモ知レマセヌ、ヤカマシク申セバサウカモ知レマセヌガ、此位ノコトハ極ク輕微ナコトダト私ハ思フ、ソレダケナラソレデ宜シウゴザイマスガ、最近ノ狀態ニ於キマシテ何時頃……此二三箇月前トモ言フテ宜シウゴザイマスガ、新聞紙上ニ掲ゲテアル所ノ記事ニ依リマシテ見テモ、宮中ノ某重臣ニ對スルアノ言論ハ何事ダ、此位ノ密輸入位ノコトガ體面ニ關スルカラ記事差止ニナルナラバ、アノ宮中ノ某重臣ニ對スル諷刺ハ、是ハ體面ニ關シナイノカ、是ハドウモ片一方ハ何カ密輸入ヲシタト云フ位ノコトデ差止テ置キナガラ、之ヲ抛テ置クト云フノハ何ノ事デアルカ、此點ニ付キマシテハ陸軍大臣モ深ク遺憾ノ意ヲ表サレタ、貴族院ノ交渉委員會ノ席上ニ於テ、質問ガアテ遺憾ノ意ヲ表サレタト云フコトハ何テ居リマスケレドモ、遺憾ノ意ヲ表セラレル迄モナイ、是等ハ陸軍大臣ノ御職責デハナイト思ヒマスガ、斯フ云フコトハドナタノ御職責カ知ラヌケレドモ、ドウシテモ是ハ前ト全然權衡ヲ得ナイ、妙ナ言論ト云ハナケレバナラス、マダム、斯ウ云フヤウナコトハ澤山ゴザイマス、今日殊ニ此非常時ノ問題ガ多い、經濟上、軍事上、澤山ニ問題ガアリマスケレドモ、併シ之ヲ十分論議スルコトハ出來ナイ、何故カト云ヘバ、齋藤總理大臣ハ、是ハ事實デゴザイマセウ、各政黨ノ總裁ニ對シテ、軍部ヲ刺戟スルヤウナ言論ハ決シテシテハイケナイ、差控ヘテ貰ヒ

タイ、斯ウ云フコトヲ仰シヤッタ、私ハ此問題ニ付テ齋藤首相ヲ非難スル考ハハツトモゴザイマセヌ、齋藤首相並ニ山本男爵、高橋前子爵、此諸老人ガ今日非常時局ニ當テ非常ニ御注意ニナリテ居ル、最も専心御努力ニナリテ居ルト云フコトハ、殊ニ私感謝イタシテ居リマス、感謝イタシテ居リマスガ、誠ニ今ノ總理ノオヤリニナリ方ヲ見ルト云フト、少シク腑ニ落チナイコトガアル、詔勅ヲ引キマシテハ長多イ話デゴザイマスガ、此議會ノ劈頭ニ賜ハタタ所ノ詔勅ニ依レバ、慎重審議……十分慎重審議ヲセヨト云フ詔勅ヲ賜ハテ居ル、決シテ之ヲ引イテ彼是レ申スノデゴザイマセヌガ、其詔勅ヲ御協贊ニナツタ總理大臣、必ズ其詔勅ヲ下サレルニ付テハ、總理大臣ハ輔弼ノ任ヲ盡サレタコトト思ヒマスガ、其輔弼ノ任ヲ盡サレタ同ジ總理大臣ガ軍部ノ刺戟ニナルヤウナコトハ言フテハイケナイ、一方ニ於テハ慎重審議、一方ニ於テハ軍部ノ刺戟ニナルコトヲ言フテハイケナイ、ドウモ私ハ殆ド解スルコトガ出來ナイ、軍部ノ豫算ハ御承知ノ通り四割以上、五割ニモ達シテ居ル、軍部ノ議會ト云テモ宜イ位デアアル、ドウモ軍部ノ議會デアアルヤウナ今日ニ、非常時々々トヤカマシク言フ時代ニ、軍部ノコトヲ論議スルコトガ出來ナイデハ、ドウスルコトモ出來ナイ、軍部ノコトヲ論議スルコトハ差支ナイ、刺戟サヘシナケレバ宜イデハナイカト云フノモ一ツノ見方カモ知レマセヌガ、併シ議會ノ立場ト云フモノハ、矢張り會計検査院ノヤ

ウナ所ガアリマシテ、惡イ所ハ惡イトシテ申上ゲナケレバナラス、惡イ所ハ惡イトシテ飽ク迄モ正サナケレバナラス、事實ハ事實トシテ擧ゲナケレバナラス、サウスレバ軍部ノ刺戟ニナルノハ當リ前ノコトデアアル、言ヒタクテモ言ハズニ居ルダケノ話デアアル、是デハドウモ今ノ總理大臣ノオヤリニナリ方ハ、誠ニ立場ハ御察シ致シマス、立場ハ御察シ致シマスガ、此詔勅ヲ一方ニ於テ御協贊ニナリ、一方ニ於テサウ云フ又諒解ヲ求メラレルヤウナ矛盾シタオヤリニナリ方、サウ云フヤウナ行動ヲ取ラナケレバナラスヤウニナツタ、其社會狀態ヲ誠ニ遺憾ト致スノデアリマス、尙ホ今日ノ狀態ニ於キマシテハ、外交關係ニ於キマシテモ、隨分ナ問題ガアリマス、御承知ノ通り外交關係ニ於テハ、日本ハ孤立ノ狀態ニアアル、併シ是ハ今外務大臣御説明ノ通りニ、段々好轉シツツアルコトハ事實デアリマスルガ、ドウモ今迄ノヤリ方ハ何ダカ焦土外交トカ何トカヤカマシク言フテ、敵ニシナクテモ宜イヤウナモノヲ敵ニシタト云フヤウナコトモアリマセウ、又財政ノ方面カラ言フテモ、ヤリ方ニ依ツテハ、焦土外交ト云フヤウナモノヲ御避ケニナツタナラバ、コンナニ財政ガ無統制ニナツテ了テ、ドウモ手ノ付ケラレナイヤウナコトハナカラウト思フ、誰ニ伺フテモ此財政ヲドウ始末スルカ譯ガ分ラナイ、誰モ明確ナ御答ヲスル人ガナイ、斯ウ云フ狀態ニアルト云フコトハ全ク是ハモウ少シ言論ノ自由ガ十分ニナレバ、コン

ナヤウナコトハアリ得ナイ、私共デモ十分ニ是ハ御救ヒスルコトガ出來タト思フ、併シ言ヘナケレバドウスルコトモ出來ナイ、先達デモ、是モ「メーソン」氏ノ言葉ヲ引キマスガ、「メーソン」氏ノ言ハレルニハ、是ハ私誤解ガアルトイケマセヌガ、私ノ解シタ通り申スノデアリマスガ、日本ハ頻リニ外國ニ對シテ、人道トカ何トカ云フコトヲ御説明ニナリテ居ル、斯ウ云フコトデハ駄目ダ、ソナナコトハオ止シニナツテ、十分ニ國內デ言論ヲオサセニナツタ宜カラウ、サウ云フコトニナレバ、外國ノ誤解ナドト云フモノハ散ジテ了フノダ、斯ウ云フコトヲ言ハレテ居ル、私モサウ云フコトニ伺フテ居リマス、ドウモ外國カラハ、日本ハ國論統一ダトカ何ダトカ云フコトヲ頻リニ言フテ居ルケレドモ、併シドコカ國論ノ統一ガナイト云フヤウニ解サレル、是ハ當然ナコトデアリマシテ、サウ云フ風ニ言ヒタイコトモ言ヘナイデ、何モ國論ノ統一ガアリヤウガナイ、或人ハ東ト論ジ、或人ハ西ト論ジ、色議論ガアツテ、纏マツテ來タノガ本統ノ國論統一デ、西ノ議論バカリ言フテ、東ノ議論ガ出來ナイ、ソレヂヤ國論ノ統一デアルトハ言ヘナイ、外國ノ疑フノハ尤ダト思フ、國際關係カラ見テ憂フベキコトダト思ヒマス、尙ホ是等ノ結果トシテ、ドウモ皆様モ御承知デアリマセウガ、國內ニ怪文書ノ飛ブト云フコトハ非常ナモノ、是ハ澤山アリマシテ殆ド盡セマセヌ、盡セマセヌシ、又讀ムベキ性質ノモノデモアリマセヌカラ、

何モ申シマセヌガ、皆様御承知ノコト、唯
マア著シイ其中ノ何カ一ツ申サナイトイカ
ナイカラ、一ツ申シマスガ、怪文書デ何月
事件ト云フモノガ参ッタコトガアリマス、近
頃ハ昭和九年一月トカ銘ヲ打ッテ清軍運動
ノ實勢ト云フノガ一ツ、斯ウ云フ怪文書ガ隨
分飛ブ、怪文書バカリデナク、不穩ナ風説ガ
アリマス、是モ澤山ゴザイマス、是ハ申ス
迄モナイ、其中ノ一ツヲ申上グレバ、矢張
リ信濃毎日ガドウシタトカ、富山新報ガド
ウシタ、福岡日日ガドウトカ、斯ウトカ、
トシテモナイコトガ行ハレテ居ル、是ナド
ハ言論ガ不自由ダカラ「デマ」ガ飛ブ、富山
新報……日報ト間違ヘテ居リマスガ新報、
サウ云フヤウナトシデモナイヤウナコトガ
行ハレテ來ル、是モ皆言論ノ自由ガ十分ニ
出來テ居ナイモノダカラ、思ヒモ依リナイ
コトガ行ハレテ來ル、是等ハ「デマ」デアリ
マスルガ、尙色々外ニモ多少ソレカラ生ジ
タ實例ヲ述ベテ見タイノデス、マアサウ云
フヤウナコトハ餘リ何ンデスカラ止シマシ
テ、極ク著シイモノダケ、誰ニデモ知レ切
テ居ルモノダケヲ申シマセウ、其中ノ一ツ
ハ五・一五事件、五・一五事件ノ真相ト云フ
モノハ、ドウモ今世間デ誤解シテ解釋シテ
居ルノト、我々ガ或機會ニ當局カラ伺ッ
所トハ違フ、斯ウ云フヤウナ違フ狀態ニ置
クト云フコトハ、是ハ國家ノ重臣大養前總
理ニ對シテ、決シテ敬意ヲ表スル所以デハ
ナイ、斯フ云フコトハ十分ニ明カニシテ置
キタイ、所ガドウモソコニマダ何等カノ誤

解ガアッテ、十分ナコトガ徹底シテ居ナイト
云フコトヲ誠ニ遺憾ト致ス、是ハ説明スル
マデモナイ、皆様ニ於テ御了解下サルと思
フ、ソレカラ尙モウ一ツ申セバ、若槻總裁
ガ演説ヲ止ラレタコト、アレナドモ若槻
線裁ハ政黨ノ總裁トシテ、又國家ノ重臣ト
シテ、此非常時ニ於テハ忌憚ナク議論ヲサ
レルコトヲ私ハ希望スル、是非トモサウナ
ケレバナラナイコトナデス、ソレガ何デ
アルカ知ラナイガ、止メナケレバナラナイ
ヤウナ事情ニナッテ了ッテオ止メニナッテ、オ
止メニナッテ了ッタノハ宜イケレドモ、ケレ
ドモソレモ宜クアリマセヌケレドモ、若槻
總裁ニ反對スルヤウナ議論ガ盛ニ言ハレテ
居ル、何ノコトダカ是モ譯ガ分ラナイ、御
互ニ議論スル場合ハ、相手方ニモ十分ノ武
器ヲ持タセ、コチラモ十分ニ武器ヲ持ッテ
立合ッテコソ宜イガ、片方ノモノヲ止メテ
了ッテ、片方ノ人ハ勝手ナコトヲ言フ、ソ
レデハ世ノ中ヲ誤ルコトモ非常ナモノデス、
斯ウ云フヤウナコトハ早ク切り放ッテシマ
ッテ、オ互ニ言ヒタイコトハ言ッテ、論ズベキ
コトハ虚心坦懷ニ議論ヲシテ、丁度武士ガ
戰場ニアッテ戦フヤウナ思ヒヲ以テ、オ互ニ
ヤリ合フベキモノダト私ハ思フ、又一日モ
早クサウ云フ機會ノ來ルコトヲ希望イタス、
又斯ウ云フコトモアッテ、今度ノ軍事費ノ豫
算ガ非常ニ多イモノダカラ、農村ガ、犠牲
ニナッタト、斯ンナ議論ガアッテ、所ガソレ
ガ反軍思想ダト云フヤウナコトヲ言ッテ、又
言ッタ人モアラシイ、是ハ誰ガ言ッタカ知

リマセヌ、是ハ斯ウ云フヤウナコトハ、ドウモ
反軍思想トシテ一概ニ斥クベキモノデハナ
イト思フ、成程或ハ考ヘ方ニ依ッテハ、農村ガ
犠牲ニナッタノカモ知レマセヌケレドモ、併
シ今日此非常時局ニ於テ、只今陸軍大臣、
海軍大臣カラ御話ガアッタ通りニ、軍備ノ充
實ト云フコトハ必要ナ事ナデス、シナケ
レバナラヌ事ナデ、シナケレバナラヌ事
ナラバ、其シナケレバナラヌコトヲ十分御
説明ニナルナラバソレデ宜シイ、成程或ハ
中ニハ生命保険料ヲ支出ノ四割八分モ拂ッ
テ居ルモノハ無イトカ云フヤウナコトモア
ッテヤウデス、ケレドモソレニ對シテモ、十
分其軍事費ノ必要ナコトヲ御話ニサヘナレ
バソレデ分ッテ居ル、一概ニ反軍思想ダトカ
何ダトカ云フノデナイ、農村ノ人ニハ農村
ノ人ノ立場ガアリマスルカラ、多少是ハサ
ウ云フヤウナ議論ハ出テ來ル場合モアル、
間違ッタコトハ飽ク迄正セバ宜シイ、ソレカラ
又政治家ニ大變犧牲者ガ多イ、サウ云フコト
ガアッテ、是ガ亦反軍思想ダト云フ、是ハ反
軍思想ト私ハ思ヘナイ、勿論軍人ハ絕對服從
ノ義務ニ服シテ居ル、外ノ者トハ特殊ノ地位
ニ居ル、金鵄勳章ヲ賜ハルノモ、又亡クナ
ラレテカラ戦死者ニ對シテハ、特ニ靖
國神社ニ奉祀スルヤウナ途モ開カレテ居ル
ト云フコトハ當然ナコトナデス、ソレヲ
言ヒサヘスレバ直グ分ルコトナデス、併
シ強チ之ヲ反軍思想ト云ッテ一概ニ斥ケテ
了ッテ、丸デ愛國心ガ無イモノノヤウニ罵
詈譏諷シテ了フモノデハナカラウト思フ、

併シ是ダケノコトハ私ハ確カト思フ、軍事
費ノ負擔ハ非常ニ重イ、軍事費ノ負擔ハ非
常ニ重イコトハ確カデス、動モスレバ此海
軍ノ七割ノ時ナドモ議論ガアッテ、七割ハ
不十分ダト云フコトハ是ハ言ヘマセウ、何
デモ此七割ノ議論ニ對シテハ、大變國防ニ
冷淡ダト云フヤウナ議論モアッテ、國民ヲ舉
ゲテ國防ニ冷淡ナ者ハ無論ナイ、唯併シ日
本ノ國力ハ亞米利加ニ對シテ七割デナイコ
トハ分リ切ッテ居ル、二割ダカ三割位ノモノ
デセウ、此頃ノ爲替相場ヲ見テモ大概見當
ガツク譯デス、サウ云フヤウナ國民ガ少ク
モ七割位ノ負擔ニ堪ヘテ居ルコトハ、私ハ
此豫算ヲ協贊シタ議員ノ一人ト致シマシ
テ、國民ニ感謝ノ念ナキ能ハズ、誠ニ衷心
カラ感謝シテ居ル、能ク是ダケノ負擔ヲ國
民ガ堪ヘテ居ルト云フコトニ感謝イタシテ
居ル、併シ是ガ國防ノ點カラ見テマダ不十
分デアルト云フヤウナ議論ハ、是ハ別議論
ダ、ソレハソレデ御尤ナ議論トシテ何ッテ
居リマスガ、併シ負擔ノ重イコトニ付テハ
感謝セザルヲ得ナイ、尙ホ政治家ニ犧牲ノ
多イト云フコトモ是モ當リ前ノ話デ、事實
其通り、多勢ノ政治家ハ皆國難ニ殉ゼラレ
ル、皆決死ノ覺悟ヲセナケレバ臺閣ニ立ツ
コトガ出來ナイ現状デ、是ハ我々又認メナ
ケレバナラナイコトト思ヒマス、卑近ナ例
ヲ申上ゲマスガ、衆議院ノ御方ト我々ト比
較シテ見ルト大變ナ違ヒ、私共ハ何ノ仕合
セデアルカ何ノ苦心モシナイデ此處ニ立ツ
コトガ出來テ、サウシテ好キナコトガ述ベ

ラレマスガ、ソレデマア大シタ差支モナケレバ、相當ナ年ニナル迄ハ參政權ヲ得テ行キマスケレドモ、衆議院ノ御方トナレバ、僅カノ期限デ解散散ト云フコトデ、差向キ一年カ二年デ皆其地位ヲ去ラナケレバナラス、サウシテ非常ナ苦心ヲシテアノ騷ギヲヤツテ、サウシテ又議政壇上ニ立ツ、非常ナ犧牲ヲ拂ハレテ居ル、ソレデハ官僚ト違テ、恩給ガ付ク譯デモ何デモナイ、罷メテ了ヘバソレダケデ、誠ニ非常ノ犧牲ヲ拂テ居ラレル、斯ウ云フコトハ何處マデモ認メナケレバナラスと思フ、無論政黨政治ノ弊害ノ惡イ事ハ矯正シナケレバナリマセヌケレドモ、其政治家ノ努力ニ對シテハ、敬意ヲ表サナケレバナラスコトと思フ、尙是ハ元ノズット前ノ話デスガ、軍閥ト云フヤウナコトモ問題ニナツタコトモアリマスケレドモ、是ハ昨日關君カラ詳細御述ベニナツヤウニ、何モ輕蔑シタ言葉デモ何デモナイ、昔ノ軍部ニ立籠テ、サウシテ政治ノコトニ少シ横暴ヲヤツタ云フヤウナコトヲ軍閥ト云フ、是ハ寧ロ斯ウ云フコトハ言ハセテ、横暴ハシテ居ナイト云フ事實サヘ明カニナレバソレデ宜イノデ、斯ウ云フヤウナコトヲ言ツタカラソレドウノ斯ウノト云フヤウナコトハ、我々ハ考ヘ得ラレナイコトダラウト思ヒマス、ソコデ今迄ハ過去ノ例デゴザイマスガ、此事ハ將來ニ付テモ同ジコトダラウト思ヒマス、今ノ問題ニナツテ居ル所ノ滿洲ノ經營ニ付キマシテモ、是モ十分ナ議論ガ必要ト思ヒマス、モウ治

安維持ノ方ハ先ヅ一段落デアリマシテ、是カラ經濟ノ經營ニ掛ラナケレバナラス、經濟ノ經營ニ掛ラナケレバナラスト云フコトニナレバ、各方面ノ忌憚ナキ意見ヲ徵シテ、ソレニ依テ定メラレル必要ガアラウト思フ、單ニ二三ノ人達ガ外ノ無用ノ者入ルベカラズト云フヤウナ態度ヲ以テ……サウヤツテ居ルト云フ譯デアリマセヌガ、サウ云フ風ニナスベキモノデハ私ハナカラウト思フ、是モ此間「メーソン」氏ノ言ハレタ意見ヲ玆ニ引キマスガ、「メーソン」氏ガ或人ニ會フ時ニ其人ガ言ハレルニハ、我々ハ何億トカ云フ金ヲ使フテルンダカラ、何モ實業家ガ無クテモ、政治家ガ無クテモ、經濟ノコトハヤレルト云フ御話デアツタカラ、ソレニ對シテ「メーソン」氏ハ、ソレハソシナコトハナイ、使フ人ハ使フコトハ出來ラウケレドモ、儲ケル方ハ別デアリマスト云フコトヲ言ハレタサウデアアル、ソレハ其通りデアルト思フ、モウ斯ウナツテ來レバ、經濟財政ニ堪能ノ人ガ彼處ニ居テ主宰シテヤルト云フノモ、サウシロト云フノデヤアリマセヌガ、一ツノ是ハ議論デ、唯サウ云フ議論ハ一向行ハレナイ、唯衆議院デチョットソシナヤウナ議論ガ仄カニ聞エマシタ、ソレ位ノコトデ、是ハ軍部ノ當局者モ認メマシテ、軍部ガヤツテ居ルコトハ一時ノコトデアアル、一時ノコトデアツテ、將來永久ノコトデハナイト云フヤウニ言ツテ居ラレマシタ、我々モソレヲ喜ビマスガ、今日マデソシナ事ガ議論ニナラナカッタト云フコトハ、誠ニ不思議ナコトデ

アル、殊ニ滿洲ニ付キマシテモサウデスガ、マダ外ニ幾ラモ例ガゴザイマスガ、將來ノ軍縮會議ニ付テモサウダト思フ、是ハ國民ノ重大ナ負擔ニ關スルコトデアリマシテ、本當ニ國論ヲ一致サシテ之ニ當ラウト思ヘバ、各方面ノ忌憚ナキ議論ガ出テ來ル、サウシテ是ガ決シテ行クベキコトデ、唯一方ノ人バカリ物ヲ言ツテ居タンデハ、到底國論ノ一致ト認メラレナイ、外カラ見テ國論ノ一致ト見ラレマセヌ、却テソレガ爲ニシナクテモ宜イヤウナ波瀾ガ起ル、斯ウ云フヤウナ問題ハ幾ラモゴザイマス、要スルニ右ヲ行カウト左ヲ行カウト……、右左ト云フト、今ノ左傾、右傾ト云フヤウナコトニナリマシテ、少シ言葉ガ惡ウゴザイマスガ、ドツチノ議論ヲ採ラウト、是ハ各、其人ノ意見デゴザイマシテ、國家ヲ憂フル至誠ニ至ツテハ、何ノ差ハナイコト、柳ハ緑、花ハ紅、花ハいろ／＼ノ色ガアツテコソ、都ノ春ハ一層ノ美觀ヲ呈スル、サウシテ都ノ春ヲ美化スル點ニ於テハ、花モ柳モ何ノ相違ハナイ、美化サレルニハドツチデナケレバナラスト云フコトハアリマセヌ、片方ヲ逆賊ノヤウニシテ了ハナケレバ、一方ガソレデ功績ガ稱ヘラレナイト云フヤウナコトハ少シモアルマイト思フ、現ニ是ハ私ガ玆デ彼是レ議論スル所デアリマセヌケレドモ、西郷南洲ノ心事ト云フモノハ、モウ明カニナツテ居ル、心事ノ公明ナコトハ明カニナツテ居ル、併シ谷將軍ノ勳功ガソレニ依テ減タカト云フト、少シモ減ツテハ居ナイ、谷將

軍ノ勳功ハ依然トシテ偉大、何モ一方ヲ逆賊ニシナケレバ、一方ガ善クナラスト云フコトハナイ、逆賊ト云フト言葉ガ惡イガ、愛國心モ何モナイヤウニシナケレバ、一方ガ揚ラスト云フコトハナカラウト思フ、實際斯ウ云フヤウナ狀態デハ、此重大ナ時局ヲ是カラ國民トシテ乘リ切テ行クコトニ於テモ、非常ニ我々ハ憂ヒニ堪ヘナイ、ソレデ此狀態ヲ內務大臣ハ如何ニ御覽デアルカ、又是ニ對シテ、如何ナル方策ヲ御採リニナル御積リデアルカ、ドウカ其點ヲ伺ヒタイ、尙ホ附加ヘテ申上ゲマスルガ、又將來法案其他ノ御改正モアルト云フコトデアルガ、サウ云フヤウナ際ニ於キマシテモ、斯ウ云フヤウナ點ハ、十分御審議願ヒタイト思ヒマスガ、只今私ガ舉ゲタ例ニ付テ、一々御答ヲ願フ譯デモ何デモナイ、全體ノ言論ノ自由竝ニ取締ニ付テノ、一般的ノ御答辯ヲ願ヘバソレデ宜シイ

(國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル)
○國務大臣(男爵山本達雄君) 御答ヲ致シマス、大河内子爵ヨリ色々ノ例ヲ御引キニナリマシテ詳シク御質問ノコトヲ御述ベニナリマシタガ、要シマスルノニ、ドウモ言論ニ對シテ、餘リ嚴シクスル爲ニ却テ宜シクナイ、ト云フコトニ付テノ御質問ノヤウニ伺ヒマシタガ、此政府ニ於キマシテハ、言論ノ自由ト云フコトニ付キマシテハ、餘程自由ヲ重ンジテ居ルノデゴザイマス、成ルベク世ノ中ニ害ニナラナイヤウナ、妨ゲニナラスヤウナル事ニ付イテハ、極ク自

由ニシテ居ルノデゴザイマス、唯困リマス
コトニハ、出版物ニ於キマシテ、或ハ又演
説ナドニ於キマシテデス、我方國體ニ傷ガ
付クヤウナ、又ソレガ治安ニ害ノアルヤウナ
事ヲ、日々當局ニ於テハ吟味イタシマシテ、
是ハ餘儀ナイモノト思フダケノモノヲ出
版、言論ヲ止メテ居ル次第デゴザイマス、
ドウモ併ナガラ、人ガ勝手ニ物ヲ言ヘル
カドウカト云フ今御話デアリマスガ、何ト
ナク世ノ中ガ、思想上ニ不安ヲ來スヤウナ
コトガアルノデゴザイマス、遂ニ自身ガ言
ハムト思フテモ、斯ウ云フコトヲ言、タナラ
バドウ云フ結果ガ起ルデアラウカ、又如何
ナル者カラドウ云フ妨ゲヲ受ケルデアラウ
カト云フ如キ、ドウモ其何トナク空氣ガア
ルヤウデゴザイマス、ソレガ爲ニ何モ政府
ガ斯ウ云フコトハ相成ラヌトシテ出版物ナ
ドニ止メルコトノ外ニ、斯ウ云フコトヲ言、
タラ何處カラドンナコトガ起ルカ知レヌト
思ヒマシテ、個人ニ於テモ又ハ新聞ナドニ
於キマシテモ、自カラ慎シテ居ルヤウナ現
象ガアルノデゴザイマス、是ハ私等モ餘程
心配シテ居リマシテゴザイマスガ、何シロ
其空氣ヲ如何ニシテ政府モ制スル譯ニモ、
禁ズル譯ニモ行キマセズシテ居ルノデゴザイ
マスルガ、併シサウ云フ空氣ノ起ルト云フ
如キコトハ自カラ其人ガ……人心ガ何トナ
ク道路目ヲ以テスル如キコトガアレバソレ
ハ何カニ原因ガアルト思ヒマスカラシテ、
其邊ハ十分ニ注意シテ世ノ中ニ害ガアリ、
風俗ヲ害シ、又醇風美俗ヲ妨ゲルトカ、又

ハ國體ニ幾分カ傷ヲ付ケルト云フヤウナコ
トニ付キマシテハ、是ハモウ法律ノ命ズル
ニ從テ、何處マデモ嚴シクヤル積リデゴサ
イマスケレドモ、其外ノコトハ成ルタケ自
由意思ニ任シテ居ル心得デアリマス、尙ホ
御注意旁、御質問ノ點モ大ニ心得テ行クベ
キ點ガアルノデゴザイマスカラシテ、此後
ニ於キマシテ御趣旨ニ背カヌヤウニ成ルタ
ケ注意シテ参リマス、之ヲ以テ……
○子爵大河内輝耕君 御深切ナ御答辯ニ對
シテ感謝イタシマス、私ハ是デ質問ヲ止メ
マス
○副議長(伯爵松平賴壽君) 通告順ニ依リ
マシテ赤池君ニ發言ヲ許シマス
(赤池君演壇ニ登ル)

○赤池漫君 今日ノ如キ非常重大ナル際ニ
於キマシテハ、卒直ニ我々ノ思フ所ヲ述ベ
テ、憂フル所ヲ明カニシテ、眞劍ニ政府ノ
所見ヲ叩イテ、サウシテ國政ヲ議スルノガ
我々議員ノ任務ト心得テ居リマス、齋藤總
理ガ施政ノ演説ニ於テ「列國トノ交誼ハ
愈々敦厚ヲ加ヘテ何等愉快ナル所ナク、隣邦諸
國トノ關係亦漸次改善ノ跡ヲ認メ得ルコト
ハ邦家ノ爲メ深ク喜ニ堪ヘナイ所デアリマ
ス」ト仰セラレマシタラバ實ニ國家ノ幸福ハ之
リデアリマシタラバ實ニ國家ノ幸福ハ之
ニ過ギルモノハアリマセヌ、然ルニ外務大
臣ハ直グ其アトカラシテ支那ノ關係ヲ説
カレマシテ、彼ノ國ニ於テモ現狀ヲ打開シ
ヤウトスル所ノ希望モ計畫モアルト云フコ
トハ情報ニ依テ知ッテ居ルケレドモ、情報

バカリデマダ具體的ノ事實ヲ認メルコトガ
出來ナイト云フコトヲ述べラレ、更ニ露西
亞ノ關係ニ付キマシテハ「ソ聯邦ノ我國ニ對
スル態度ハ若干變調ヲ來シ、殊更我國ニ對
シ非難ノ聲ヲ放チ、事態ノ惡化ヲ吹聴シテ、
其内治外交ノ上ニ之ヲ利用スル感ガアルト
言ハレテアリマス、用語ノ點ニ付テ特別ニ
御注意ニナッテ居ル所ノ外務大臣ガ斯ノ如
キコトヲ言ハレマシタコトハ、我々トシテ
ハ容易ニ之ヲ其儘簡單ニ聽取スル譯ニ行キ
マセヌノデアリマス、英米ノ關係ニ付キマ
シテハ外務大臣ハ意味深長ノ言ヲ以テ御説
明ニナリマシテ、如何ニモ其アトニ付テ
餘韻ノ嫺々タルモノヲ我々ニ覺エシムル
モノデアリマス、更ニ最後ニ於テ世界ノ
狀況ヲ通觀スレバ政治上ノ不安、經濟上
ノ動搖、思想上ノ混亂ノ爲ニ國際關係ハ動
モスレバ平調ヲ失ハムトスル感ガアルヤ
ウニ考ヘラレルト嘆息セラレタラバデアリマ
ス、我々ハ外務大臣ノ御話ヲ伺ヒマシテ、
實ニ感慨無量ノモノガアルノデアリマス、
而シテ之ヲ最近ノ事實ニ徴シマスレバ、亞
米利加ノ大使館ハ本國ノ訓令ニ依ッテ、其國
ノ大官ノ言動ニ付テ我國ノ諒解ヲ求メタト
云フコトガ見エテ居リマスルシ、又支那ハ
支那デ以テ四中全會議、即チ第四次中國全
體會議ニ於キマシテ、我々ニ目障リニナル
所ノ聲明書ヲ出シテ居ルノデアリマス、而
モ尙ホ其間ニ於テ幾多ノ策動ガ依然トシテ
行ハレテ居ルト云フコトヲ、我々ハ目撃セ
ザルヲ得ナイノデアリマス、露西亞ニ付テ

申シマシタナラバ……「ソヴェート・ロシア」
ニ付テ申シマシタナラバ、外務大臣ノ演説
後開カレタ所ノ第十七回共產黨大會ニ於テ、
其首腦部デアアル所ノ「スターリン」氏「モロ
トフ」氏以下、實ニ傍若無人ノ言ヲ吐イテ
居リマシテ、殊ニ極ク最近ニ於キマシテ軍
事首腦部ノ「ウオロシロフ」氏ハ實ニ閑捨テ
ナラナイ所ノ言ヲ弄シテ居ルノデアリマス、
我國ヲ圍繞スル所ノ三大隣國ノ情勢ヲ見マ
スルト云フト、如何ナル形勢デアアルカト云
フコトニ付テ我々ニ深ク考ヘセシムルコト
ガアルノデアリマス、更ニ歐羅巴ノ情勢ヲ
見マスルト云フト、英吉利トノ關係ニ付キ
マシテハ綿ヲ中心トスル所ノ日印交渉ハ、
僅ニ形ヲ……局ヲ結ンダヤウデアリマス
ケレドモ、マダ……尙ホ餘蘊ガ燃上ガテ關
稅關係ガ起キテ居ルヤウデアアルノデアリマ
スルシ、又此議場ニ於キマシテ芳澤君ガ指
摘サレタヤウナ風ニ、新嘉坡ノ軍艦ノ上ニ
於ケル所ノ會議ハ一抹ノ不安、一抹ノ暗雲
ノ低迷スルコトヲ思ハシメルニ餘リアルモ
ノデアリマス、又和蘭、白耳義等ノ間ニ付
テ見テモ不快ナル問題ガ發生シ、或ハ發生
セムトシテ居ル狀況デアアルノデアリマス、
從來日本ニ對シテハ十分ナ理解ヲ有ッテ居
タト稱セラレテ居ル所ノ伊太利ノ首相ハ、
無遠慮ニ黃禍論ヲ唱ヘテ、我國ノ大使ハソ
レガ爲ニ抗議的忠告ヲ試ミタカ云フコト
デアアルノデアリマスシ、又之ニ付テ我國ニ
駐在スル所ノ伊太利ノ大使館カラ出タ所ノ
聲明書ヲ見マスルト云フト、我々ニハ疑惑ヲ

起サシムルコトハアリマシテモ、釋然タラシムルコトガナイノデアリマス、是ガ今日國際關係ニ於テ現ハレテ居ル所ノ現象デアリノデアリマス、我々ハ今日國際關係ノ情勢ヲ考ヘ、更ニ之ヲ歴史ニ徴シテ見マシレバ、今日我ガ日本ハ、世界歴史ガ一體有テ以來會テ見ナイ所ノ狀態ニ置カレテ居ルト云フコトヲ氣付カザルヲ得ナイノデアリマス、即チ世界ノ文明國ト云フ文明國、強大國ト云フ強大國ガ、悉ク日本ヲ目標トシテ其對策、其國策ヲ考究シツアルト云フ事實ヲ見ルノデアリマス、勿論各國其立場ヲ異ニシテ居リマスルシ、又其利害ヲ同ウシナイ爲ニ、其政策ハ必シモ一樣デアリマセヌ、或者ハ通商ノ關係ニ重キヲ置キマスルシ、或者ハ政治ノ方面ニ主力ヲ注イデ居リマスルシ、或者ハ國防ノ方ニ重點ヲ置イテ居ルノデアリマスルガ、併シ其眼ハ悉ク我國ノ上ニ注ガレテ、其鋒先ハ我國ニ向イテ居ルト云フコトハ、是ハ蔽フベカラザル所ノ事實デアアルノデアリマス、斯ノ如キハ世界歴史アッテ以來未ダ會テ見ナイ所ノ珍ラシキ現象デアリマス、而シテ我國ハ開關以來會テナイ所ノ事態ニ當面シテ居ル譯デアリマス、我等ハ此際ニ於テ國事ヲ審議スルニ當リマシテハ、此國際事情ニ盲目デアッテハナラヌト思フノデアリマス、之ヲ腦裡ニシツカリト銘記シテ置イテ、而モ其由テ來ル所ハ實ニ深甚微妙ナルモノデアアルカラシテ、其打開策モ容易ナラザルモノガアルコトヲ承知シテ、サウシテ掛カラナケ

レバナラヌカト思フノデアリマス、近頃本議場ニ於キマシテモ、世間ニ於キマシテモ危機ト云フ言葉ヲ使フコトガ宜イトカ惡イトカ、或ハ餘リ取越シ苦勞ラシテハナラヌトカ色ミナ御話ヲ承ルノデアリマス、誠ニ御尤モ千萬ナコトデアリマシテ、我々ハ徒ニ人ヲ刺激スルヤウナ風ノ言葉ヲ用ヒルコトモ、是モ有害デアリマスルシ、好シデ又杞憂ヲナシテ自ラ苦ムト云フノモ愚ノ極デアリマスルケレドモ、併シ去リトテ又強ヒテ御事實ヲボカシ、努メテ樂觀スルノモ決シテ此時局ニ善處スル所以デナイト考ヘルノデアリマス、今若シ一步誤ッテ軟カナル所ノ言語トカ、或ハ儀禮的文句トカニ顧慮スル餘リ、此事態ヲ正シク見ルコトニ缺ク所ガアリ、時局ニ對スル所ノ認識ヲ多少ナリトモ誤ル風ノコトガアリマシタナラバ、其害ハ救フベカラザルモノガアルト考ヘルノデアリマス、決シテ斯ノ如キコトハ國事ニ忠ナル所以デハナイモノト存ジマス、今日ノ時局ニ當リマシテハ我々ハ徒ニ文字ノ用語ヤ、言葉ノ使ヒ方ニ付テ無益ナル遊戲ヲスル時デハナイノデアリマシテ、ハッキリ事態ヲ見テ、事實ガドウデアアルカト云フコトヲハッキリ見テ、盛ニ經綸ヲ講ズベキモノデアアルト思フノデアリマス、此意味ニ於キマシテ私ハ事實ニ即シマシテ質問ヲ致シテ、政府ノ御經綸ヲ承リタイト思フノデアリマス、第一ハ、滿洲國ノ建設ニ關聯イタシマシテ「ソヴエート」ノ行動ニ付テ御尋シタイト思フノデアリマス、總理大臣ハ施政演說ニ於テ帝國外交ノ方針

ハ「新興滿洲國ノ發達ヲ促進シ、東洋ノ平和ヲ確保シ、延イテハ世界ノ平和ニ寄與セントスルモノデアリマス」ト述べラレテ、滿洲國建設ノ理由ヲ明カニサレマシタ、外務大臣ハ引續イテ、緊密且ツ特別ノ關係アル滿洲國ニ於テ、執政閣下初メ政府當局ノ努力ト帝國ノ全幅ノ援助ニ依ッテ、著シク建設ノ歩ヲ進メ、顯著ナル成績ヲ舉グルニ至タト言ウテ、其成功ヲ祝福セラレテ居ルノデアリマス、滿洲國ハ言フ迄モナク我國ガ異常ナ決心、壯烈ナル覺悟ヲ以テ、大犧牲ヲ拂ッテ其建國ヲ援助シテ居ルモノデアリマシテ、我國トノ關係ハ唇齒輔車デアルト云フヤウナ風ノ言葉デ形容シ盡サレルモノデハアリマセヌ、實ニ密接缺クベカラザル關係ニアルノデアリマシテ、其成功ハ滿洲國人ガ喜ブノミナラズ、我國人モ實ニ歡喜勇躍シテ止マナイモノデアリマスル、從テ我々ハ今日滿洲國ノ能ク發達シテ行クノヲ見シタカラシテ、蟲ニモ喰ハセナイ、風ニモ當テタクナイト云フ風ニシテ、一意健全ナル發達ヲ希望スル者デアリマスガ、併シ最近滿洲國カラ歸ッテ來ル人ノ言ヲ聞キマスルト云フト、我々ハ甚ダ心ヲ暗クシテ、現狀ニ對シテ、更ニ前途ニ對シマシテ、憂慮スル所ガ多イノデアリマス、聞キマスル所ニ依リマスルト云フト、山東カラ出稼ギシテ居ル所ノ苦力ガ、金ヲ懷ロニシテ歸國スルモノガ多イト云フコトデアリマス、又滿洲國ノ富豪ハ其財産ヲ他所ノ方ニ……國外ニ預ケル所ノ風潮ガ非常ニ顯著ニナツタ

ト云フコトヲ聞クノデアリマス、何故サウカト申シマスレバ、其理由ハ日露ノ開戦ガ近キニアルガラウト云フコトデアアルノデアリマシテ、何故サウ云フコトヲ言フカト云フト、其理由ヲ聞キマスレバ「ソヴエート・ロシア」ノ軍事行動、其他各種ノ行動ト云フモノガ、到底天下ガ此儘デハ治ラナイ、明日ノ變ハ測ラレナイト云フコトヲ豫想スルモノガアルカラト云フコトデアリマス、而シテ何故サウ云フカト云フト、其具體的ノ何カ證據ガアルカト申シマシタナラバ、其例ヲ舉ゲマスルノハ、大體斯様ナコトデアアルノデアリマス、即チ「ソヴエート・ロシア」ガ國境ニ非常ニ兵ヲ増シテ來ル、日一日ト澤山ノ兵ヲ増シテ、サウシテ今日デハ十五萬乃至十九萬ノ兵ガアルトカ、又國境ノ近イ所ニ據點若クハ要塞ヲ、半永久トモ云フベキ風ノ城塞ヲ築イテ、特ニ防備ヲ嚴ニシテ居ルトカ、又「チタ」ニアル所ノ總司令部ヲ滿洲里ニ近イ所ニ移シテ來タトカ、或ハ又飛行機ヤ戰車ヲ盛ニ送ッテ其數ハドウデアルトカ云フ風ノ、莫大ノ數字ヲ舉ゲテ居ルノデアリマス、或ハ又糧食ヲ盛ニ送ッテソレヲ貯藏シテ居ル、又兵器、兵隊、糧食ヲ送ル所ノ西比利亞線ヲ複線ニシタノガドウデアルトカ、或ハ又兵隊ヲ人民カラ隔離イタシマシテ、大イニ排日教育ヲ施シテ其敵愾心ヲ鼓舞シテ居ル所ノ様子デアアル、斯様ナコトヲ舉ゲテ來ルノデアリマス、諸君ノ御承知ノ通り滿洲人竝ニ支那人ハ極メテ敏感デアリマス、而モ天下ノ形勢、天下ノ

變ト云フコトニ付テハ特殊ナル所ノ敏感サヲ有テ居ルノデアリマス、デ此敏感ナル所ノ滿洲人ガ露西亞ノ此情況ヲ見マシテ何ト考ヘルデアリマセウカ、彼等ガ神經ヲ毫毛刺戟セラレナイデ唯居ルト云フコトガ想像サレルノデアリマス、尙ホ聞キマス所ニ依ルト云フト「ソヴェート・ロシア」ハ標語ヲ變ヘタサウデアアルノデアリマス、昨年マデノ標語ハ「ソヴェート・ロシア」ハ、他國カラ「ウキルシヨク」……「ウキルシヨク」ト云フノハチヨット云フノデスガ、「ウキルシヨク」ノ侵入ヲ許サザルト共ニ、「ソヴィエト・ロシア」ハ他國ニ「ウキルシヨク」ノ侵入ヲナサズト云フ、斯ウ云フコトデ、自衛的ノ立場ヲ明カニスルヤウナ標語デアッタサウデアリマスガ、本年ノ一月以來ハ之ヲ改メテ「ソヴェート・ロシア」ハ他國ノ態度如何ニ依テハ「他國ノ領土内ニ侵入スルコトアルベシト云フコトヲ言フタサウデアアルノデアリマス、是等ノ標語ハ何ヲ意味シ、如何ナル感動ヲ滿洲人ニ與ヘルノデアリマセウカ、御承知ノ通り滿洲國ニ於キマシテハ、國境ニ向テハ何等ノ防備ヲ施サズ、全ク國境ヲ開放シテ居ルノデアリマス、我國ノ外交政策ハ外務大臣方屢、聲明サレタ如ク、平和主義デアアルノデアリマシテ、唯外交工作ニ依テ此國難ヲ打開シヤウトスルニ努メラレテ居ルノデアリマス、ニモ拘ラズ最近ノ露西亞ノ外國ニ對スル所ノ宣傳、我國ニ對スル所ノ不當ナル、我國ヲ誣フル所ノ不當ナル宣傳ガ盛ニ行ハレテ居

リマスコトハ、外務大臣ノ既ニ御承知ノ通リデアリマシテ、曩ニ施政演說ノ時ニモ御話ニナク通りデアリマス、殊ニ其ヒドイノハ、是ハ外國ニ向テ殊ニヒドイノハ、日本ハ沿海州ヲ占領スルノデアアル、此滿鐵道ヲ暴力デ奪取スルノデアアルト云フコトヲ宣傳シテ居ルノデアリマス、是ハ首腦部カラモ言ハレマス、又「タス」通信ニ依テ世間ニ宣傳サレタ事實デアリマス、尙又最近開會サレテ居ル所ノ十七回ノ共產黨大會ニ於テ、露西亞ノ首腦部ハ隨分言語道斷ナ言葉ヲ以テ、露骨不遠慮ナ、殆ド國際友誼ヲ無視スルヤウナ風ノ言ヲナシテ居リマス、ドウ考ヘテ見マシテモ、挑戰的態度ト言ハザルヲ得ナイヤウナ感じヲ與ヘルノデアリマス、私ハソレ等ノ人ノ言行ヲ一々茲ニ繰返スコトヲ致シマセス、併シ唯一言スベキコトハ、是等ノ言葉ニ依リマシテ露西亞ガ如何ニ我國ニ對シテ國際的不信義ノコトヲヤツテ居ルカ、又國境ニ於テ如何ニ防備ヲ有テ居ルカ、サウシテ陸軍ノ優越ナルコトヲ以テ誇テ居ルカト云フコトヲ、我々ハ此際特ニ一言シテ置ク必要ガアルト思フノデアリマス、尙ホ又廣田外務大臣ガ此席上ニ述ベラレマシタ所ノ平和政策ニ付テハ、特ニ其一項ダケヲ削除シテ、露西亞ガ國民ニ知ラサナイデ、サウシテ外務大臣ノ演說ニ對シテ兎角ノ批評ヲ試ミテ居ル所ノ情勢ト云フモノハ、彼等ガ我國ノ情勢ヲ國內ニモハッキリ知ラセナイモノダラウカト云フ感ヲ深クサセルモノガアルノデアリマス、即

チ外國ニ對シテハ我國ノコトヲ誣ヒ、國民ニ對シテハ我國ノ當局者ノ信義ヲ隱蔽スルト云フヤウナ態度ヲ執リツツアルト云フコトハ、我々ヲシテ非常ニ色々考ヘサセルモノガアルノデアリマス、「ソヴェート・ロシア」ガ此態度ヲ改メナイ以上ハ、滿洲ノ人民ハ其堪ニ安ンジテ、サウシテ平和ガ何時マデカ續クモノダト云フ觀念ノ下ニ於テ、其業ヲ爲スコトガ出來マセウカドウカ、古人曰ク、樹靜カナラムトスレドモ風息マズ、滿洲ノ人ハ如何ニ自ラ安ンジヤウト思ヒマシテモ、海外カラ、外國カラ種々ナル所ノ刺戟ヲ受ケマスコトカラ致シマシテ、果シテ安全ニ其業ニ樂ンデ居ルコトガ出來マセウカドウカ、滿洲國建設ニ付テハ我々ハ滿洲國內ノ狀況ヲ改善スルコトガ必要デアルト感ズルト同時ニ、其外國ノ空氣ヲ好クシナカッタナラバ、到底其目的ヲ達スルコトガ出來ナイコトヲ痛感セザルヲ得ナイノデアリマス、就キマシテハ外務大臣ニ伺ヒタイノハ、外務大臣ガ「ソヴェート・ロシア」ガ我國ヲ誣フル所ノ國際的不信義ノ點ニ對シテ、從來如何ナル外交工作ヲサレマシタカ、又滿洲ノ建設ヲ妨ゲル點ニ對シマシテ、如何ナルコトヲ「ソヴェート・ロシア」ニ對シテヤラレマシタカ、其コトヲ承リタイノデアリマス、又世界ノ誤解、「ソヴェート・ロシア」ノ宣傳ヲ信ジナイヤウナ風ニスル爲ニハ、如何ナルコトヲサレマシタカ、我々ハ國家ヲ泰山ノ安キニ置キ、平和ヲ飽マデモ維持セムトスル者デアリマスルカラシテ、

此點ニ付キマシテ外務大臣ノ外交工作ニ付キ、一端ヲ承レバ誠ニ仕合せト思フノデアリマス、次ニハ支那ノ保金ニ付テ御伺ヒシタイノデアリマス、外務大臣ハ其施政演說ニ於テ、帝國政府ハ東亞ニ於ケル平和ノ維持ニ重大ノ責任ヲ感じ、且ツ確乎タル決心ヲ有ス、之ガ爲ニハ支那自體ノ安定ガ最も肝要ダト述ベラレタノデアリマス、誠ニ其通りデ、我國ノ外交ノ核心ハ全ク支那問題ニ存スルノデアリマス、之ガ爲ニ我國ノ先輩ハ支那ガ會テ列國ノ爲ニ分割サレムトシタ時ニ、福建不割讓ノ條約ヲ聲明サシタノデアリマス、外務大臣ハ此聲明ガ今日尙ホ有效ニ維持シテ居テ、少シモ侵害ガサレテ居ラスト云フ御氣持デアリマスルカ、其點ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 是ニテ休憩ヲ致シマス、午後一時三十分ヨリ開會ヲ致シマス

午後零時一分休憩

午後一時四十五分開會

○議長(公爵近衛文麿君) 報告ヲ致サセマス

(瀨古書記官朗讀)

本日第五部ニ於テ豫算委員桑山鐵男君ノ補選選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果内田重成君當選セリ

本日裁判所構成法中改正法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 侯爵松平 康昌君
副委員長 木場 貞長君

○議長(公爵近衛文麿君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、本日内田重成君ヨリ、都合ニ依リ決算委員辭任ノ申出ガゴザイマシタ、許可ヲ致スコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス、就キマシテハ第一部ニ於テ、補閣選舉ヲ行ハレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵近衛文麿君) 廣田外務大臣

(國務大臣廣田弘毅君演壇ニ登ル)

○國務大臣(廣田弘毅君) 先程赤池君ノ外交ニ關スル御質問ニ對シテ御答ヘ致シマス、日本ト最モ關係ノ多イ國ミトノ今日ノ事態ニ付キマシテハ、赤池君ハ非常ナ細心ノ注意ヲ以テ御觀察ニナツテ、其ヤウナ困難ナル事態ヲ御述ベニナツタノデアリマスガ、私モ決シテ御話ニナツタヤウナ趣旨ノ點ハ見遁スコトハ出來ナイト思フノデアリマス、併ナガラ他方總テサウ云フ國ミガ日本ヲ、單ニ日本ヲ目標トシテ行動シテ居ルト云フ點ハ、私ハ其儘賛成スル譯ニハ參ラナイノデアリマシテ、日本自身ノ立場カラ見マス、

サウ云フ風ニ見テ行クト云フコトガ國家ノ前途ノ上ニハ比較的安全ナ方法デアルト思フノデアリマスガ、何モカモ世界ガ總テ日本ヲ目標ニ動イテ居ルヤウナ考方ハ、却テ私ハ實際ノ真相ニ觸レテナイノデハナイカ、又私自身ノ議會ニ於ケル演說答辯其他ヲ御聽キニナリマシテ、私ガ徒ニ努メテ樂觀ヲシテ居ルト云フヤウナ御感想ヲ得ラレタカノヤウニ思ハレマスケレドモ、私ハ決シテサウ云フ感じハナイノデ、日本ノ前途ニ於キマシテ頗ル多事多難デアラトウ云フコトハ、私モ十分感じテ居ル次第デアリマス、唯其間ニ處シマシテ、日本トシテ成ルベク此國家勃興ノ際ニ障礙ノ起ラヌヤウニ、國家ノ發達ヲ阻害スルヤウナ事態ノ起ラザラムコトヲ期シテ、出來ルダケノ努力ヲ致シテ居ル譯デアリマシテ、若シ其間私自身ハ迎モ自分ノ力デ及バヌト云フ感じガ起テ參ルヤウナ瞬間ガアリマシタナラバ、其時ハ私ハ晏然トシテ此輔弼ノ重責ニ居ルコトハ出來ナイト感じテ居ルノデアリマス、各種ノ問題ニ付テ、色々御質問ニナリマシタ中ニ、滿洲ノ建設發達、其上カラ不安ヲ感じテ居ル、「ソ」聯邦トノ關係ニ付キマシテハ、是ハ細心ノ注意ヲ拂ハナケレバナラヌコトハ度度私ガ申上ゲタ通りデアリマシテ、不幸ニ

シテ未ダ滿洲人ニ對シマシテモ、一般ニ安心ヲ與ヘル程度ノ諒解ガ兩國ノ間ニ付カズニ居ルコトハ甚ダ遺憾デアリマスガ、是ハ日ミ私ハ帝國議會ニ出席シテ、色々自分ノ感想ヲ述ベテ居リマスル間ニ於キマシテモ、朝或ハ夜絶エズ露西亞ノ關係者トハ接觸ヲ保チマシテ其方ノコトヲ致シテ居ルノデアリマス、露西亞ノ最近ノ日本ニ對スル惡宣傳ハ甚ダ私ハ遺憾ニ思フノデアリマスケレドモ、是ハ露西亞ノ如キ全ク新機軸デ國ヲ建テテ居ル國ノヤリ方ハ世界各方面ノ空氣トハ餘程違ッテ居リマスノデ、其邊ハ甚ダ残念ナガラ餘リ之ニ對抗セズ、徒ニ言論戰ニ自ラ陥ルヤウナコトハ避ケル方ガ、日本トシテハ大國の襟度デアルト私ハ感じテ居ルノデアリマス、尙ホ滿洲問題、日本ノ動キ其他ニ付キマシテ、世界各國ニ對シテ十分ナル諒解ヲ得タイト思フノデアリマスガ、是ハ實ハマダ思フ存分ノコトモ出來マセヌシ、マダ十分世界ニモ諒解ヲ得テ居ナイ點ガ多々アルト思フノデアリマスガ、是ハ此後益々努力イタシタイト思フノデアリマス、支那ノ保全ニ付キマシテハ、福建不割讓ノ條約ガ實行サレテ居ルカ否カト云フ御質問デ結論ヲ出サレタノデアリマスガ、私ノ觀マス所デハ、支那ト致シマシテハ其福建不割讓ノ

條約、詰リ福建省ノ如何ナル部面モ他國ニ割讓シ又ハ貸與スルコトヲシナイト申シテ居ル點ハ、支那ノ方デハ私ハ實行シテ居ルト思フノデアリマス、是迄ノ質問ニ對シマシテ大體ダケノ御答辯ヲ申上ゲマス

〔赤池濃君演壇ニ登ル〕

○赤池濃君 只今外務大臣ノ御話ヲ承リマシテ、私ガ何カ外務大臣ガ大變ニ樂觀ヲシテ居ラレルヤウナコトヲ申シタヤウナ風ニ承リマシタノデアリマスルガ、私ハ外務大臣ガ常ニ正シキヲ履ミ、中ヲ執ッテ、所信ニ邁進スルト云フコトニ付テ多大ノ敬意ヲ拂ッテ居ル者デアリマシテ、而モ此時局ノ重大ナル際ニ於テ渾身ノ勇ヲ揮ッテヤラレルコトニ付テ、衷心カラ敬意ヲ拂ッテ居ル者デアリマシテ、決シテ外務大臣ガ樂觀サレテ居ルモノトハ思ッテ居リマセヌカラシテ、左様ナコトハ申シマセヌ、唯私ガ如何ニモ現今ノ事態ガ重大デアルモノデアリマスルカラシテ、念ニモ念ヲ入レテ、サウシテ此際ニ善處シテ貫ヒタイト云フ所ノ希望ヲ持ッテ居ルノデアリマス、而シテ只今言論戰ハ不必要デアルト云フ御話ガアリマシタガ、無論サウデアリマスルガデス、兎ニモ角ニモ露西亞ガ機會ガアル度ニ於テハ、必ズ國內ニ於テ種々ナル日本ノ惡宣傳ヲシ、日本ノ善イ

コトハ隠シテ置イテ、惡イ方ノ方面ヲ言ウ
テ國人ヲ誤テ居ル、是ハ對内關係トシテ仕
方ガナイト言ヘバソレ迄デアリマスルケレ
ドモ、ソレハソレト致シマシテ、海外ニ對
シテ日本ガドウデアアル、斯ウデアルト有ユ
ル惡宣傳ヲシテ居ルコトニ付キマシテハ、
是ハ世界ノ誤解ヲ一掃スル點ニ於テ相當努
力シナケレバナライモノダラウト思フノ
デアリマス、努力ト云フコトハ必シモ言論
戰ヲシロト云フ意味デハアリマセヌ、兎ニ
角日本ノ正シイ所ヲ明カニシテ、大義ヲ以
テ世界ニ臨ンデ居ルコトヲ明カニシナケレ
バナラヌト思フデアリマス、古諺ニモ市ニ三虎
ヲ出スト云フコトガアリマシテ、噓モ度重ナレバ
遂ニ君子ヲ疑ハシムルヤウナ風ノ結果ヲ來
スノデアリマス、衆口金ヲ鑠カスト云フコ
トデアリマシテ、有ユル方面カラ計畫的ニ
策動ヲ致シマシテ、殊ニ或思想團體ヲ動カ
シテ種々ナルコトヲ叫ビマス以上ハ、ドン
ナ結果ヲ來スモノデアアルカト云フコトハ懸
念ニ堪ヘナイ次第デアアルデアリマスルカ
ラ、ソレ等ノ點ニ付テ十分ナル御注意アラ
ムコトヲ私ハ希望スル次第デアリマス、只
今福建ノ不割讓條約ハ、支那ニ於テ少シモ
侵害ヲサレテ居ラナイト云フ御答辯デアリ
マシタガ、私ハ其點ニ付テ頗ル疑ヲ有ッテ

居ル者デアリマスルカラシテ、尙ホ御再考
ヲ願フテ見タイト思フデアリマス、御再考
ヲ願フト同時ニ、何か外交工作ガソレカラ
生レルノデハナイカト云フコトヲ期待シツ
ツ御尋ネスル次第デアリマス、福建不割讓
條約ハ、申ス迄モアリマセヌ、其昔列國ガ支
那ヲ分割セムトスル時ニ於キマシテ、我國
ガ支那ニ迫ッテ割讓シナイト云フ所ノ事ヲ
言ハシメタモノデアリマシテ、甚ダ茲ニ恐
縮デアリマスケレドモ、其文書ヲ、長イモ
ノデアリマスケレドモ、支那ノ回答文ノ一
節ダケヲ讀ンデ見マスルト云フト、如何ニ
モ是ガ重大ナモノデアリマシテ、「本翰ヲ
按ズルニ福建省內及沿海一帶ハ均シク中國
ノ要地ニ屬スルヲ以テ何レノ國タルヲ論セ
ス中國ハ斷シテ之ヲ讓與ハハ貸與セサルヘ
シ」云々ト云フコトガ眼目ニナリマシテ、
是ニ付テハ日本ガ清國ノ窮狀ヲ憐ムデ、支
那ノ保全ガ大事デアルト云フコトヲ縷、外
交文書ニ示シ、其事ヲ附加ヘテ、サウシテ
此聲明書ヲ向フカラ出シタノデアリマス、
是ニ依リマシテ當初將ニ支那ガ分割サレヤ
ウト云フ形勢デアリマシタガ、其類勢ヲ轉
換イタシマシテ、サウシテ今日ノ支那ヲ保
全スルコトガ出來タノデアリマス、即チ支
那ノ保全カラ申シテ如何ニモ重大ナル、支

那ノ外交史上ニ於テ特筆大書スベキ所ノ一
項デアアルノデアリマス、其後モウ一度支那
ヲ策源地ト致シマシテ、或國ガ或計畫ヲシ
マシテ、日本ノ國防ニ一種ノ脅威ヲ感ズル
ヤウナ時ニアリマシテ、大正四年我國ガモ
ウ一遍支那ヲシテ聲明サシタノデアリマ
ス、其外交文書ニ依リマスルト云フト、支
那ノ政府ノ回答ノ中ニ「支那國政府ハ福建
省沿岸地方ニ於テ外國ニ造船所軍用貯炭所
海軍根據地其ノ他一切ノ軍事上ノ施設ヲ爲ス
コトヲ許スカ如キコト決シテ無之又外資
ヲ借入レ前記施設ヲ爲サムト欲スルカ如キ
意思ナキコトヲ茲ニ致聲明候、外國ニ造船
所、軍用貯炭所、海軍根據地、其他一切軍
事上ノ施設ヲ爲スヲ許サガ如キ事ハ決シテ
之ナク、又外資ヲ借入レ前記ノ施設ヲ爲サ
ント欲スルガ如キ意思ナキコトヲ茲ニ聲明
スルト、斯ウ申シテ居リマシテ、是ハ主ト
シテ日本ノ國防ノ上カラシテヤラシメタモ
ノデアアルノデアリマス、デ私ガ此條約ガ今
日侵害サレテ居リハシナイカ、私自身ハ侵
害サレテ居ルト思フテ居ルノデアリマスル
ガ、侵害サレテ居リハシナイカト云フ所ノ
御尋ヲ致シマスノハ、二ツノ點カラ侵害サ
レテ居ルト考ヘルノデアリマス、即チ一ツ
ハ中國航空公司ニ依ル侵害デアリマス、モ

ウ一ツハ中國「ソヴェート」區域ノ成立ト申
シマセウカ、發展ト申シマセウカ、中國「ソ
ヴェート」區域ニ依ル所ノ侵害デアリマス、
尙ホ此質問ノ趣意ヲ明カニスル爲ニ、少シク
事態ヲ申上ゲルコトヲ御許シヲ願ヒタイ、第
一、中國航空公司ノコトニ付テ申シマスレ
バ、中國航空公司ハ確カ昭和四年ノ四月デア
リマスガ、米支、亞米利加ト支那トノ合辦ノ形
式ヲ以テ作ラレタノデアリマスルケレドモ、
其資本ノ大部分ハ亞米利加カラ出テ居ルト
云フコトハ是ハ周知ノ事實デアリマス、而
シテソレノ樞機ヲ握ル者モ誰デアアルカ、又最
モ活動スル者ガ誰デアアルカト云フコトハ、
是ハ外務大臣ガ能ク御承知ノコトダト思フ
ノデアリマシテ、私ハ特ニソレヲ申上ゲマ
セヌ、デ中國航空公司ハ、上海ヲ中心トシ
テ支那ニ三ツノ大キナ線ヲ有ッテ居ルノデ
アリマス、三ツノ大キナ線ト申シマスルカ、
或ハ支那ノ大陸ノ航空上ノ全權ヲ有ッテ居
ルト云フ方ガ寧ロ適切デアアルカモ知レマセ
ヌ、兎ニ角支那ノ全土ニ對シテ樞要ナル三
ツノ線ヲ有ッテ居リマシテ、其第一ノ線ガ滬
粵線、上海カラシテ滬粵即チ廣東ニ行ク線
デアリマシテ、ソレハ福建ヲ通ッテ居ルノ
デアリマス、私ガ疑ヲ挾ムノハ其滬粵線デ
アルノデアリマス、滬粵線ハ福建ノ空ヲ飛

廻ルノデアリマス、其名目ハ商業用ノ交通路ヲ開クト云フコトニナリテ居ルノデアリマスルケレドモ、民間航空ガ軍用航空ノ豫備デアアル、又其缺ヲ補フモノデアルト云フコトハ是ハ誰モ承知ノコトデアリマシテ、現ニ國際軍縮會議ニ於テモ其事ヲ認メテ、ソレノ前提ノ下ニ於テ飛行機問題ヲ議シテ居ルト云フ風ナ始メデアリマス、デアリマスルカラ名目ハ商業用ノ飛行機ト申シマスルケレドモ、是ガ軍事上ノモノデアルト云フコトヲ我々ハ信ジテ、サウシテ此事ヲ論ジナケレバナラスモノダト思フノデアリマス、尙ホ此航空條約ニ付テハ密約ガアルト云フコトデアアルノデアリマス、密約ノ全文モ世間ニ傳ハテ居リマス、併ナガラ密約ナルモノハ、元來當事者間ノ祕密ノモノデアリマシテ、外部カラ知ルベカラザルモノデアリマスカラ、此密約ガ正シイカ正シクナイカト云フコトハ、私共ハ保證ノ限リデアアリマセヌケレドモ、世間ニ傳ハリマサル所ノ密約ニ依リマスト、斯様ナコトガアルノデアリマス、米國ハ今後、今後ト申シマスルノハ昭和八年ノ五月カラデアリマシガ、五箇年間支那ノ空軍ノ基礎充實ニ全責任ヲ以テ協力シテ、而シテ支那ニ於ケル航空事業ハ總テ米支ノ獨占ニ歸スルコト、航

空建設費ハ約一億二千萬元トシテ、米國ハ其半額ヲ負擔スル、其他澤山ノコトガ書イテアリマシマスガデス、私ハ是ガ眞デアアルカドウカト云フコトヲ斷言スルコトハ憚リマサルガ、兎ニ角中國航空公司ト云フモノガ出來上テ居テ、サウシテ或種ノ活動ヲ現ニシツツアルト云フコトヲ知ラナケレバナラヌト思フノデアリマス、デ福建ノ昔ノ不割讓條約ニ於テハ、主トシテ海軍ト云フコトヲ目標トシテ居リマシテ、飛行機ノコトハ角ニモ軍事上ノ一切ノ施設ヲスルコトハ相成ラス、ソレカラ又外資ヲ以テヤルコトハ相成ラヌト云フコトヲ明言シテ居ル以上ト云フモノハ、正シク之ニ該當スルモノダト私ハ考ヘルノデアリマシテ、其點ニ付テ更ニ外務大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ福建ヲ飛ンデ居リマシテ、廈門、福州ト云フ所ヲ見マスト云フト、廈門ハ臺灣ヲ離レルコト極メテ僅カデアリマス、三十分ヲ以テ、廈門ニ集中シタナラバ臺灣ニ飛行機ガ飛ンデ來ルコトガ出來ルノデアリマス、臺灣ノ防備ノ點カラ申シマシテモ、我ガ南海ノ防備ノ點カラ申シマシテモ、如何ニモ種々ノ憂ヲ我々ハ抱カナケレバナラヌ所ノ狀況ニアルコトヲ申上ゲテ

置キマシテ、我ガ國防上ニ寒心ニ堪ヘナイモノガアリマスカラシテ、其疑ノアル所ヲ御實シ致ス次第デアアルノデアリマス、尙ホ第二ノ中國「ソヴェート」區域ノコトニ付テ申シマスレバ、御承知ノ如ク支那ニ於テハ共產軍ガ非常ノ勢ヲ以テ最近勃興イタシマシテ、現ニ蔣介石ガ第六回ノ討伐ヲ行ヒマシテ、殆ド全力ヲ擧ゲテヤリマシタケレドモ、ナカ／＼成功スルコトガ出來ナイ、寧ロ反對ニ「ソヴェート」軍ト云フモノハ段段勢力ヲ擴張シテ參リマシテ、先達テ中ハ大體江西省ヲ中心トシテ、一部廣東若クハ廣西ノ方ニ伸ビテ居リマシタケレドモ、今年ニナリマシテカラ福建ノ方ニドン／＼侵入シテ參リマシタ、現今ニ於キマシテハ福建ノ南所謂閩西、閩南ト稱セラレル地方ハ「ソヴェート」區域ニナリタト云フコトデアアルノデアリマス、「ソヴェート」區域、所謂中國「ソヴェート」區域ト稱スルモノデアリマス、之ヲモウ少シ別ノ言葉デ言ヘバ、共產軍ノ支配ノ地、勢力範圍ノ地ト申スモノデアリマシマスガ、兎ニ角サウ云フモノガ出來マシタノデアリマス、尙ホ聞ク所ニ依ルト云フト、近ク漳州ヲ中心トシテ「ソヴェート」ノ國ヲ立デマシテ、サウシテ第三「インターナショナル」ノ指令ノ下

ニ於テ活動シヤウト云フ風聞ヲ聞クノデアリマス、此コトガ事實ト致シマスレバ、福建ハ「ソヴェート」ニ依リマシテ三分ノ一乃至三分ノ二ヲ占領サレタコトニナリマシテ、福建ト云フモノハ保全サレナイト云フコトニナリマス、「ソヴェート」ト申シマスルト……如何ニモ説明メイタコトヲ申スノハ甚ダ失禮デアリマシマスガ、「ソヴェート」ト云フノハ「ソヴェート」共和主義ヲ奉ズルト云フモノデアリマシタナラバ、何處ノ國ニ於テモ立テラレルモノデアリマシテ、支那ニ於テソレガ立ッタナラバソレガ第三「インターナショナル」デ、ソレデヤテ居ル共和國デアアル、支那ノ國ニ於テ別ニ一種ノ國ガ出來タコトニナルノデアリマシテ、支那ハ明カニ分割サレタリ何カサレタ狀況ニ相成ルノデアリマス、私ハ「ソヴェート」區域ノ段々發達シテ其成立ヲ見マシテ、是ハ支那分割ノ一ツノ端デアアル、又是ノ勢力ガ段々擴張スルノヲ見マシテ甚ダ憂フベキコトト思フノデアリマス、何故左様カト申シマスレバ、支那ノ保全ノ大義ガ減ゼラレタ、ノミナラズ其昔孫文ガ共產黨ト聯絡シ、露西亞ト提携スルト云フアノ政策ヲ執リマシテカラ、支那ガドウ云フ風ニナリタカ、而シテ其害ヲ帝國ガ如何ニ受ケタカト云フコト

ハ、此議會ニ於テモ再三問題ニナリマシテ御承知ノ通りデアリマス、此コトガモウ一遍繰返サレル危險ガアル、支那ノ爲ニ我ハ悲シムト共ニ帝國ノ自衛ノ上カラモ、我モ大イニ感シナケレバナラヌコトデアリマス、況ヤ福建ニ於キマシテハ日本ノ國籍ヲ有テ居ル者、即チ臺灣籍民ト稱スルモノガ非常ナル數デアアルデアリマス、萬ヲ超エ非常ナル數ヲ有テ居ルデアリマス、デ是等ニ對シマシテ「ソヴェート」區域ガ段々擴張シ南下シテ來ルナラバ、必ズ何カノ問題ヲ生ジ得ル危險ガアルデアリマス、我ハ決シテ福建ノ狀態ヲ以テ對岸ノ火災デアアルノダト云フ風ニシテ傍觀スルコトハ出來ズ、我ガ國民保護ノ下ニ於テ、何カ行動シナケレバナラヌヤウナコトモアルデアリマスカラシテ、從テ此福建ノ狀態ニ付テハ多大ノ關心ヲ持ツモノデアリマス、此意味ニ於キマシテ我ハ福建不割譲ノ聲明ト云フモノハ儼トシテ存シテ居テ、又帝國ガ十分ニ之ヲ御守リニナルト云フコトガ必要ダト考ヘルノデアリマスカラ、茲ニ福建不割譲ノ聲明ノ實際ノコトニ付テ御尋ネスル次第デアアルデアリマス

(國務大臣廣田弘毅君演壇ニ登ル)

○國務大臣(廣田弘毅君) 只今赤池君ノ再

質問ニナリマシタ福建不割譲ノ條約ニ關スル問題デアリマスガ、此福建ニ關シマシテ、日本ト支那側トノ關係ハ二ツノ交換公文ニナッテ居リマスノデアリマス、外務省デハ普通土地ノ割譲及貨與ト云フ分ヲ不割譲條約ト申シテ居リマシテ、曩ニ赤池君カラ御讀ミニナリマシタ二番目ノ交換公文ハ、福建省ニ於ケル軍事的施設ニ關スル交換公文ト云フコトニ致シテ居ルデアリマス、成程最近支那ニ設ケラレマシタ中國航空公司ト云フモノヲ軍事的ノ施設ト見マシタラバ、確ニ是ハ交換公文ノ精神ニ反シテ居ルモノダト私モ信ズルデアリマス、併シ此中國航空公司ト云フモノヲ現在迄ノ調べ如何ニ見ルベキカト云フコトハ、實ハ私ハマダ茲ニ明言スルダケノ材料ヲ持タナイデアリマス、併シ此航空公司ト云フモノガ、假令外形ハ商業上ノモノト致シマシテモ、是ガ直チニ軍用ニ使ハレルト云フコトハ何レノ國デモ同ジヤウナ設備ヲ致シテ居ルト申シテ宜イ譯デアリマス、從テ軍事的見地カラ其航空公司ノ行動ニ付キマシテ、何等カ日本政府トシテ「ステップ」ヲ取ルベキヤ否ヤト云フコトハ、尙ホ篤ト私ハ研究ヲ要スル點デアルト思フデアリマス、尙ホ其他ニモ色ニ密約的ノモノガアルト云フコトモ聞

イテ居リマシテ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ陸海軍軍事當局トモ十分ニ協力イタシマシテ、果シテ如何ナル真相ノモノデアアルカト云フコトニハ細心ノ注意ヲ拂ッテ居ル次第デアリマス、何レニ致シマシテモ福建ニ付キマシテハ、臺灣トノ關係其他東洋平和ノ維持ノ見地カラ見マシテモ、最モ重要ナル地點デアリマスノデ、此土地ノ狀況ニ對シマシテハ出來ルダケ注意ヲ拂フコトガ、日本ニ取ッテ必要デアルト思フデアリマス、最後ニ福建ノ共匪ノ狀況ニ付テ御話ニナリマシタガ、是モ共產主義ノ主義的關係カラ見マス、誠ニ理論一貫シタ御結論ダト思フデアリマスガ、實ハ支那ニ於キマシテモ蔣介石初メ其部下一同ハ、非常ナ努力ヲ以テ此共匪ノ討伐ニ從事シテ居ルデアリマシテ、支那自體ガ之ヲ非常ニ困難ナモノトシテ扱ッテ居ルデアリマス、此共匪ノ猖獗ト相俟チマシテ日本ノ對支貿易上、其他ノ點ニモ色ニ不便ヲ來ス、況ヤ此共匪ガ本當ニ支那ヲ支配スルコトニナリマシタナラバ、是コソ實ニ日本ノミナラズ、東洋全般ノ非常ナ大キナ災害デアルト思フデアリマシテ、是ハ實ニ福建ト云ハズ、支那全體ニ於ケル共匪ノ狀況ニ付キマシテハ、十分ニ日本トシテ注意ヲ拂フベキモノト思

フノデアリマス、只今ノ御話中福建省ノ或部分ガ共匪ノ爲ニ占領セラレタカラ、是ハ支那ガ割譲シタモノダト迄ノ結論ハ、私ハマダ首肯シ得ナイ感シガ致スデアリマス、唯此際ハ福建省ニ於ケル共匪ノ活動ニ付テハ、多大ノ關心ヲ以テ十分警戒ヲ加ヘルト云フコトヲ申上ゲテ、答辯ニ代ヘタイト思ヒマス

○赤池濃君 此席デ失禮イタシマス

○議長(公爵近衛文麿君) 宜シウゴザイマス

○赤池濃君 「ソヴェート」ハ御承知ノ如ク土地ヲ必要ト致シマセヌデアリマシテ、勞働者ト農民ト兵士トガアッタナラバ、ソレデ出來ルモノデアリマス、而モソレガ「ソヴェート」共和主義ヲ奉ジテヤッタナラバ何處ニデモ出來ルモノデアリマスルカラシテ、世間ノ所謂國家ト云フ意味トハ非常ニ「ソヴェート」ノ國家ハ違フデアリマス、此意味カラ致シマシテ私共ハ、「ソヴェート」ガ福建ニ出來タト云フコトヲハキリ申上ゲテ差支ナイト思フデアリマス、是ガ必要ノ前提トシテ彼等ガ此土地ヲ占領イタシマシテモ、ソレハ「ソヴェート」國家ノ必要條件デハナイデアリマスカラ、此點ハ外務大臣モ御注意下サルコトヲ希望イタス

ノデアリマス、私ハ此際外務大臣ニ彼是レ申ス譯デアアリマセヌガ、兎ニ角外務大臣ガ絶大ナ國民ノ信用ヲ負ウテ其職ニ居ラレル以上ハ、日本ノ今日ノ時局ニ對シ、又外國トノ關係ニ付キマシテハ、細心ノ注意ヲ拂ッテ、サウシテ國威ヲ宣揚ナサルコトニ御努力アラムコトヲ切ニ希望シテ已マナイノデアリマス、以上ヲ以テマシテ私ノ質問ヲ打切リマス

○議長(公爵近衛文麿君) 次ハ通告順ニ依リマシテ肝付男爵ニ發言ヲ許ス筈デアリマスガ、外務大臣ハ御出席ニナテ居リマスガ、商工大臣ト農林大臣ハマダ衆議院ノ方ノ議事ノ御都合デ御出席ニナテ居リマセヌ、商工政務次官ガ出席セラレテ居リマス、ソレカラ農林政務次官ガ出席セラレルコトニナテ居リマスガ、ソレデ宜シケレバ只今發言ヲ許シマス、如何デアリマスカ肝付君ニ伺ヒマス

○男爵肝付兼英君 私ノ質疑ノ内容ハ、商工大臣ト農林大臣ト同時ニ御出席ヲ必要トスル事項ニ互ルノデアリマス、出來ルナラバ御兩所オ出デノ席デ致シタイト存ジマス

○議長(公爵近衛文麿君) 肝付男爵ノ次ハ菊池男爵デアリマシテ、其次ハ石塚英藏君デアリマスガ、是等ノ諸君ノ御質疑ハ何レ

モ首相、陸相、文相其他此處ニ御出席ニナテ居リマセヌ國務大臣ニ對スル御質疑デアリマスカラ、此際順序ヲ變更シマシテ、其次ノ竹越與三郎君ニ發言ヲ許シタイト存ジマス

○竹越與三郎君 私ノ主題ハ外交デアリマスガ、總理大臣ノ御出席ノ時ニ御便宜ヲ御計リ願ヒタイト思ヒマス、ドウゾ順序ハ以前ノ通りニ御願ヒ致シマス

○議長(公爵近衛文麿君) 然ラバ本日ハ議事ノ都合上是ニテ延會イタシタイト存ジマス、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス、明七日午前十時ヨリ開會イタシマス、議事日程ハ本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス

午後二時二十二分散會